

ザンビア共和国
孤立地域参加型村落開発計画
運営指導（計画打合せ）調査報告書

平成15年5月
(2003年)

国際協力事業団
農業開発協力部

農開園
JR
03-7

序 文

ザンビア共和国では、政府が設定した貧困ライン以下の人口が全人口の7割を占め、そのうちの7割が農村に居住しています。特に「孤立地域」と呼ばれる地域に住む小規模農家の経営は悪化の一途をたどっています。

貧困削減を重点政策課題として掲げるザンビア共和国政府は、孤立地域の貧困削減を目標とし、持続的参加型村落開発手法を確立するための技術協力を我が国に要請してきました。

国際協力事業団は基礎調査、短期調査を重ね、平成14年2月に実施協議調査団を派遣し、討議議事録の署名・交換を行いました。これに基づき平成14年6月から「ザンビア共和国孤立地域参加型村落開発計画」プロジェクトが開始されています。

このたび、プロジェクト開始後9か月が経過したことを踏まえ、当事業団ザンビア事務所所長を団長とする運営指導調査を実施し、ザンビア側関係者と合同でプロジェクトの進捗状況を確認し、今後のプロジェクト運営に係る協議を行いました。

本報告書は、同調査の協議結果等を取りまとめたものであり、本プロジェクト並びに関連する国際協力の推進に活用されることを願うものです。

最後に、本調査にご協力とご支援をいただいた内外の関係各位に対し、厚く御礼申し上げますとともに、当事業団の業務に対して今後もなお一層のご支援をお願いする次第です。

平成15年5月

国際協力事業団

理事 鈴木 信毅

目 次

序 文
目 次
略語表
地 図
写 真

第 1 章 運営指導調査団の派遣.....	1
1 - 1 運営指導調査団派遣の経緯と目的.....	1
1 - 2 調査団の構成.....	2
1 - 3 調査日程.....	2
1 - 4 主要面談者.....	3
第 2 章 要 約.....	5
2 - 1 進 捗.....	5
2 - 2 プロジェクトの枠組み.....	5
2 - 3 今後の予定.....	6
2 - 4 継続検討・確認事項.....	6
2 - 5 留意点.....	6
第 3 章 暫定活動計画（TPO）の進捗状況.....	8
3 - 1 分野別進捗.....	8
3 - 2 執務環境及び施設整備.....	10
3 - 3 専門家派遣.....	10
3 - 4 研修員受入れ.....	10
3 - 5 第三国専門家及び第三国研修.....	11
3 - 6 機材供与.....	11
3 - 7 ローカルコスト負担.....	11
第 4 章 活動計画（PO）.....	13
4 - 1 実施体制.....	13
4 - 2 PDM.....	13

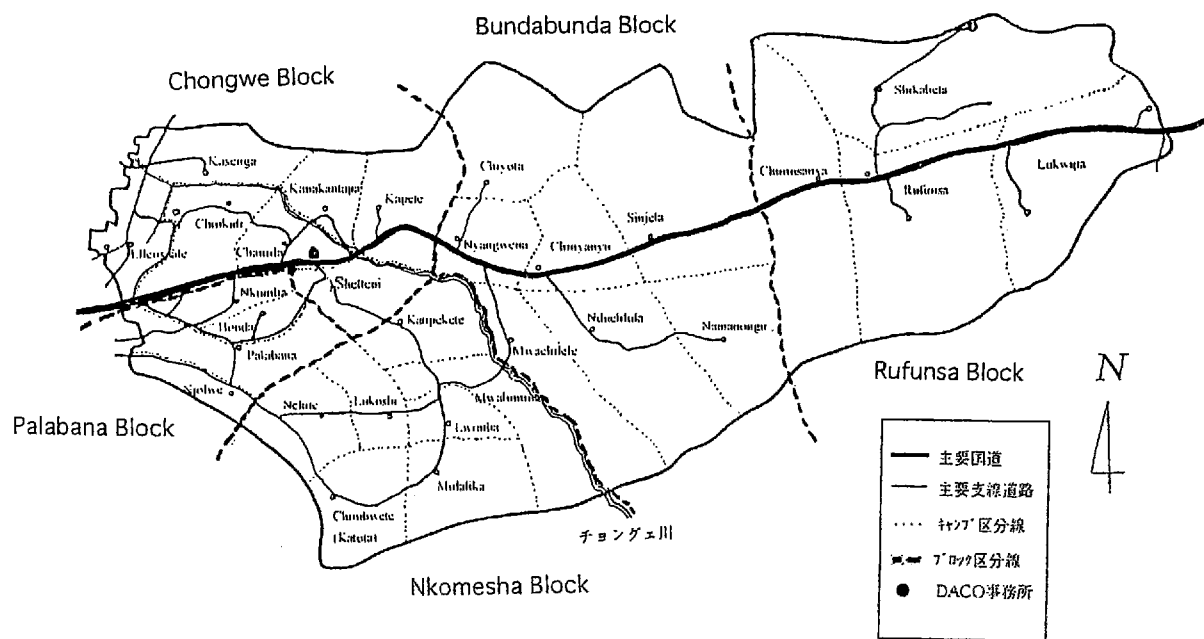
4 - 3	活動計画 (PO)	14
4 - 4	年次活動計画 (APO)	14
4 - 5	モニタリング	14
第5章 プロジェクト実施上の課題		16
5 - 1	運営面の課題	16
5 - 2	技術上の課題	18
付属資料		
1 .	ミニッツ (PDMを含む)	21
2 .	PDM仮和訳	27
3 .	合同調整委員会 (JCC) 配付資料 (プロジェクト進捗状況、両国投入を含む)	28
4 .	孤立地域の定義 (農業・協同組合省作成資料)	37
5 .	2001年にチョンゲ郡8村で実施したパイロット・マイクロプロジェクトの モニタリング結果	38
6 .	優良事例調査の質問表 (案)	47
7 .	追加資料 (活動計画・実施体制図・カウンターパートリスト)	65

略 語 表

略 語	正式名称（英、和）
APO	Annual Plan of Operation 年次活動計画
CIRDAP	Centre on Integrated Rural Development for Asia and the Pacific アジア太平洋総合農村開発センター
DACO	District Agricultural Coordination Office 郡農業調整官事務所
FASAZ	Farming Systems Association of Zambia
JCC	Joint Coordinating Committee 合同調整委員会
MACO	Ministry of Agriculture and Co-operatives 農業・協同組合省
OECF	The Overseas Economic Cooperation Fund, Japan 海外経済協力基金
PACO	Provincial Agricultural Coordination Office 州農業調整官事務所
PASViD	Participatory Approach to Sustainable Village Development 参加型持続的村落開発アプローチ
PaViDIA	Participatory Village Development in Isolated Areas ザンビア孤立地域参加型村落開発計画（案件名）
PaViDIA Model	PaViDIAモデル 本プロジェクトで確立する持続的参加型村落開発モデル
PDM	Project Design Matrix プロジェクト・デザイン・マトリックス
PMM	Project Management Meeting プロジェクトマネジメント会合
PO	Plan of Operation 活動計画
R/D	Record of Discussions 討議議事録
SIDA	Swedish International Development Cooperation Agency スウェーデン国際開発協力庁
TPO	Tentative Plan of Operation 暫定活動計画
ZAMSIF	Zambia Social Investment Fund ザンビア社会開発基金
2 KR	Second Kennedy Round 食糧増産援助



チョングェ郡ブロック (Block) / キャンプ (Camp) 地図



1. パイロット・マイクロプロジェクト

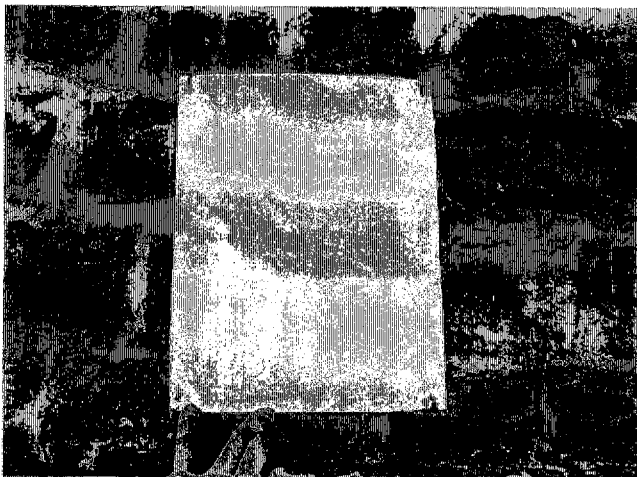
・ Mwalubemba (ムワルベンバ) 村、Sinjela(シンジェラ) キャンプ



製粉機



製粉機保管場所：製粉機専用の小屋を建設し、鍵付きの扉を設置。



製粉機使用料金：製粉機保管小屋の扉に使用料を明記。
使用料は村で管理し、維持管理に使用する。



油搾機

・ Sisyleka (シシヨレカ) 村、Chainda (チャインダ) キャンプ

・ Mukunya (ムクニャ) 村、Chainda (チャインダ) キャンプ



橋：住民の共同作業で建設した橋。幹線道路までの距離が11kmから2kmに短縮された。



女性グループ：女性グループがミシンを使用して衣料、テーブルクロスなどを製作し、ルサカで販売する。

2. 農業・協同組合省マウントマクル中央農業試験場



実験圃場



緑肥作物の実験圃場 (Pegion Peas)

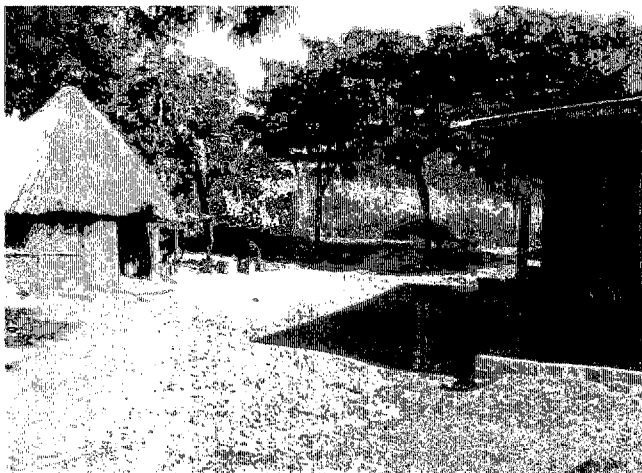


緑肥作物の実験圃場 (Tephrosia Vogeli)

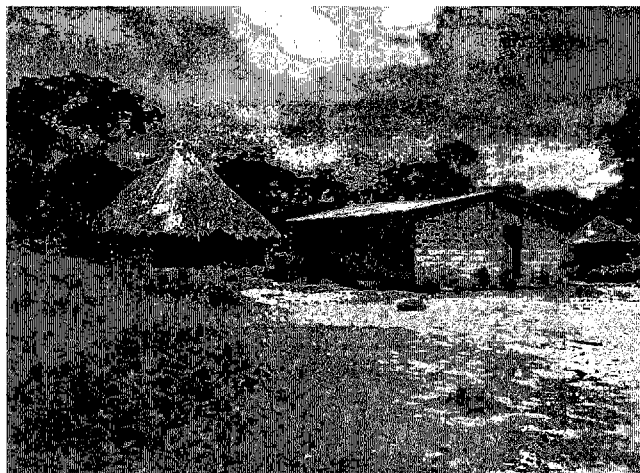


実験室

3. 農 村



ブロック普及員の自宅



中規模農家の納屋



中規模農家の畑

4. 合同調整委員会



第1章 運営指導調査団の派遣

1 - 1 運営指導調査団派遣の経緯と目的

ザンビア共和国（以下、「ザンビア」と記す）においては、政府が設定した貧困ライン以下の人口が全人口の7割を占め、そのうち7割が農村に居住している。ザンビア農業は大規模な輸出向け生産を行う資本集約的農業と自給自足的農業を営む小規模農家に二分されるが、小規模農家が全体の9割を占める。

ザンビア政府の重点政策課題である貧困削減を達成するには、かかる小規模農家を中心とする農村開発が重要視されているものの、構造調整に伴う農業関連サービス自由化により、「孤立地域」と呼ばれる厳しい条件下にある小規模農家は、生産投入材の高騰、補助金廃止に加え、民間移管されたサービスが孤立地域まで到達しないなどの要因により農業経営が一層悪化している。

かかる状況の下、同国政府は市場経済化への対応が困難な孤立地域の小農の貧困を軽減し、自立的な農村創出を目的とした本案件を我が国に要請した。

上記要請を受け、国際協力事業団は基礎調査、短期調査を実施したうえで、2002年2月に実施協議調査団を派遣して討議議事録（Record of Discussions：R/D）の署名を取り交わし、2002年6月に技術協力を開始した。

プロジェクトの目標達成には7年間かかる予定であるため、包括ミニッツ及びプロジェクト・デザイン・マトリックス（Project Design Matrix：PDM）に7年間の活動の全体像を記載したうえで、2002年2月に締結したR/Dではフェーズ1（5年間）の実施に係る部分を確認した。2007年から実施予定のフェーズ2（2年間）については、フェーズ1の評価を踏まえたうえで、別途R/Dを締結する予定である。

なお、ザンビア政府の要請は、1998年から3年間、ザンビア農業・協同組合省（Ministry of Agriculture and Co-operatives：MACO）（当時の省庁名は、農業食料水産省）に派遣された「農業開発計画」専門家が、ルサカ州で実施した参加型持続的村落開発アプローチ（Participatory Approach to Sustainable Village Development：PASViD）の実施成果に基づいている^{注1}。

今般、プロジェクト開始後約9か月経過したことからプロジェクトの進捗及び問題点の把握を行い、関係者と解決策を協議する、実施協議中に策定された暫定活動計画（Tentative Plan of Operation：TPO）に基づき、より具体的な活動計画（Plan of Operations：PO）及び年次活動計画（Annual Plan of Operation：APO）をプロジェクト関係者と協議・検討し、必要に応じてプロジェクト及びザンビア政府に提言・助言を行う、実施協議時に作成された暫定PDMをプロジェクト

注1 普及員に対して参加型開発手法研修を行い、研修を受講した普及員によって農民の参加を促す村落開発事業を実施する。草の根無償資金協力及び海外経済協力基金（The Overseas Economic Cooperation Fund, Japan：OECF）見返り資金を活用してルサカ州チョンゲ郡及びルアンガ郡で19件実施された。

関係者と協議・検討し、これまでの活動を踏まえて見直しを行う、プロジェクト活動の進捗を定期的に確認するためのモニタリング・評価計画に関し、プロジェクト関係者と協議を行う。以上を目的とし、運営指導（計画打合せ）調査団を派遣した。

1 - 2 調査団の構成

氏名	担当分野	所属
佐々木 克宏	総括	国際協力事業団ザンビア事務所所長
菊入 香以	計画策定	国際協力事業団農業開発協力部畜産園芸課職員

1 - 3 調査日程

2003年2月25日～3月8日

日付	曜日	移動と業務	宿泊
2月25日	火	東京 - ヨハネスブルグ	機内泊
2月26日	水	ヨハネスブルグ - ルサカ 14:00 JICAザンビア事務所打合せ 14:30 プロジェクト事務所訪問 15:00 農業・協同組合省(MACO)表敬訪問 16:30 在ザンビア日本大使館表敬訪問 17:30 JICAザンビア事務所打合せ	ルサカ
2月27日	木	9:00 JICAザンビア事務所打合せ 11:00 Project Management Meeting 14:30 MACO鈴木専門家打合せ 15:00 専門家打合せ(実績確認)	ルサカ
2月28日	金	9:00 ルサカ州農業調整官事務所(PACO)打合せ 10:30 専門家打合せ(各分野進捗確認) 15:00 専門家打合せ(PDM整理)	ルサカ
3月1日	土	8:00 パイロットプロジェクト視察	ルサカ
3月2日	日	資料整理	ルサカ
3月3日	月	9:00 専門家打合せ 11:00 ザンビア側プレゼンテーション フィールドサービス副局長打合せ 14:30 MACO計画局長代行打合せ 17:20 JICAザンビア事務所打合せ	ルサカ
3月4日	火	PDM修正、ミニッツ作成・関係者調整	ルサカ
3月5日	水	11:00 マウントマクル研究所訪問 14:00 スウェーデン国際開発協力庁(SIDA)訪問 15:30 合同調整委員会開催準備	ルサカ
3月6日	木	11:30 合同調整員会 15:00 ミニッツ署名 17:30 在ザンビア日本大使館報告 18:30 JICAザンビア事務所報告	ルサカ
3月7日	金	12:00 ルサカ - ヨハネスブルグ ヨハネスブルグ発	機内泊
3月8日	土	香港着 香港発東京着	

1 - 4 主要面談者

(1) 農業・協同組合省 (Ministry of Agriculture and Co-operatives)

Mr. M.R. Mulele	Permanent Secretary
Dr. H. Haantuba	Acting Director, Department of Planning and Co-operatives
Dr. R.M. Kamona	Deputy Director, Department of Field Service
Mr. E. Katoweshi	National Agricultural Information Service
Mr. E. Kalaba	Chief Planner, Department of Planning and Co-operatives Development
Mr. D. Daka	Chief Animal Production and Health Officer, Department of Research and Specialist Services
Mrs. K. Muvundika	Japan Desk Officer, Department of Planning and Co-operatives Development
Mr. L. Sikaona	Japan Desk Officer, Department of Planning and Co-operatives Development
鈴木 篤志	National Agricultural Information Service 「農業情報普及」専門家

(2) 農業・協同組合省マウントマクル中央農業試験場 (Mount Makulu Central Research Station Ministry of Agriculture and Co-operatives)

Mr. A. Chalabesa	Deputy Director, Department of Research and Specialist Services
Mr. M. Mwale	Chief Agricultural Research Officer (Water and Soils)

(3) 農業・協同組合省ルサカ州農業調整官事務所 (Office of Provincial Agricultural Coordinator, Lusaka Province, Ministry of Agriculture and Co-operatives)

Mrs. P.M. Phiri	Provincial Agricultural Coordinator (ルサカ州農業調整官)
Mrs. C. Sikanika	Senior Field Services Co-ordinator
Mr. J. Chuunka	Subject Matter Specialist

(4) 農業・協同組合省チョンゲ郡農業調整官事務所 (Office of District Agricultural Coordinator, Chongwe District, Lusaka Province, Ministry of Agriculture and Co-operatives)

Mr. P.C. Chiyanika	District Agricultural Coordinator (チョンゲ郡農業調整官)
--------------------	--

(5) 在ザンビア日本大使館

湯本 健一	二等書記官
-------	-------

(6) 在ザンビアスウェーデン大使館

Agr.Dr Torsten N. Andersson

First Secretary, Natural Resources and Environment

Davies C. Chitundu

Programme Officer, Natural Resources, Environment & Agriculture

(7) プロジェクト専門家

小堀 泰之

チーフアドバイザー

平島 淳

業務調整

金澤 弘幸

村落開発

松田 明

持続的農業

(8) JICAザンビア事務所

大田 孝治

次長

濱岡 伯士

事務所員

Joe P. Njeleka

Programme Officer

第2章 要約

農業・協同組合省（Ministry of Agriculture and Co-operatives：MACO）との協議、現場視察、他ドナーとの意見交換等を実施し、MACO次官が議長を務めた合同調整委員会（Joint Coordinating Committee：JCC）においてプロジェクト進捗確認及びプロジェクト・デザイン・マトリックス（Project Design Matrix：PDM）修正を行ったうえで、ミニッツを締結した。

2 - 1 進捗

プロジェクト開始以来、プロジェクト枠組みの確定に時間を費やしたことから、2003年3月までは現状調査及び基礎技術の移転の活動が中心となり、モデルの構築に係る活動は4月以降に開始される予定。2003年3月までの進捗は次のとおり。

2 - 1 - 1 ベースラインサーベイ

2002年9月に発生したチョングェ郡における普及員バイク強奪事件により、専門家の同地域での活動が制限され、現地調査の実施が予定より遅れたものの、2003年1月末に報告書ドラフトが完成した。関係機関との調整を行い、3月末までに最終報告書が完成する予定である。

2 - 1 - 2 優良事例調査及びパイロット・マイクロプロジェクトのモニタリング

持続的農業に係る優良事例調査及び個別専門家の協力によって、プロジェクト開始前に実施されたパイロット・マイクロプロジェクトのモニタリングを実施中である。

2 - 1 - 3 参加型村落開発手法

バングラデシュにあるアジア太平洋総合農村開発センター（Centre on Integrated Rural Development for Asia and the Pacific：CIRDAP）において第三国研修を実施したほか、3月上旬にCIRDAPから第三国専門家を招へいしてセミナーを実施する予定である。

2 - 2 プロジェクトの枠組み

2003年11月以来、関係者でプロジェクト枠組みに係る議論を行っていたが、2月27日のプロジェクトマネジメント会合（Project Management Meeting：PMM）及び3月6日のJCCにおいて協議を行った結果、PDMを修正することを合意した。主な変更点は次のとおり。

2 - 2 - 1 プロジェクト目標

旧目標は「普及員及び農家の人材育成を通じてモデルを確立する」であったが、人材育成を

主目的にした活動を実施するとの誤解が生じたことから、本プロジェクトの目標がザンビアの孤立地域の開発に必要なモデルの開発であることを明確にするため、プロジェクト目標を「モデルを確立する」に変更した。

2 - 2 - 2 成 果

プロジェクト目標との関係を明確にするため、成果を3項目に整理し、これに伴って活動及び指標も整理した。

2 - 2 - 3 活 動

プロジェクト終了後に本プロジェクトで確立したモデルを他地域に展開するため、MACOの組織体制を強化する活動を追加した。本プロジェクトの実施を目的とした新たな組織を設置するのではなく、既存組織における本プロジェクトの担当を明確にし、本プロジェクトの活動をMACOの本来業務の一環とする予定。

2 - 3 今後の予定

PDMを基に活動計画(Plan of Operation: PO)、年次活動計画(Annual Plan of Operation: APO)、実施体制図及びカウンターパート(C/P)リストを作成し、3月末のPMMで承認する予定。また、モニタリング及び評価方法について、レポート様式等の詳細をPMMで検討する予定。

2 - 4 継続検討・確認事項

- (1) 2003年3月中にPOの確定を行い、4月から本格的に活動を開始することから、今後、各活動分野での技術的な課題が判明することになる。必要に応じ、本格活動開始6か月後を目処に国内委員等の当該分野の専門家を派遣し、各活動分野の計画進捗及び計画妥当性を確認する必要がある。
- (2) 孤立地域開発におけるモデルの役割、プロジェクト終了後の全国展開のあり方等について、関係者の考え方をまとめるためのワークショップ実施を検討する。同ワークショップにおいては、「孤立地域」の定義、孤立地域開発に係るザンビア政府の政策などを明確にすることが必要である。
- (3) 2002年9月に普及員のバイクが強奪される事件がチョンゲ郡で発生したことから、バイクの供与を一時見合わせ、専門家のチョンゲ郡での活動を制限している。活動再開及びバイク供与には、同地域の治安状況の改善を確認する必要があるため、治安改善に係るザンビア政府の取り組み及び成果を書面で提出するように申し入れ、数週間中に回答を得ることとなった。回答受理後に対応方針の検討を行う。

- (4) プロジェクト終了後に、ザンビア政府がモデルを全国展開するための資金が必要となることから、食糧増産援助 (Second Kennedy Round : 2KR) 見返り資金、海外経済協力基金 (The Overseas Economic Cooperation Fund, Japan : OECF) 見返り資金、ザンビア社会開発基金 (Zambia Social Investment Fund : ZAMSIF) 等の活用の可能性を検討する。
- (5) MACOは、本年度ザンビア政府予算に未計上であった本プロジェクトの運営経費 (カウンターパートファンド) を、追加予算として財務省に申請中であり、3月中に認可の可否が判明する予定である。なお、MACO次官はJCCで、同ファンドが認可されない場合は同省の認可済み通常予算 (郡レベル活動予算) から本プロジェクトの運営経費を捻出することを表明した。
- (6) ザンビア側からモニタリング体制を郡レベルで確立したいとの要望が出されたため、詳細をPMM等で協議する。
- (7) スウェーデン国際開発協力庁 (Swedish International Development Cooperation Agency : SIDA) が、2003年1月から実施しているAgriculture Support Programmeのインセプションレポートが5月ごろに完成する予定である。インセプションレポートでプロジェクト目標などを確定する予定であることから、進捗を確認する。
- (8) ルサカ州及びチョンゲ郡の職員等によって設置されたOperation Committeeの位置づけが明確でないため、会合の目的、メンバー等の整理が必要である。

2 - 5 留意点

- (1) 持続的農業の取り扱いについて、関係者の意見が統一されていないことから、持続的農業とモデルの関連について日本国内関係者も含めて議論が必要である。
- (2) MACOの組織改編による本プロジェクトの担当部署及び担当者への影響を注視する必要がある。

第3章 暫定活動計画（Tentative Plan of Operation：TPO）の進捗状況

3-1 分野別進捗

プロジェクト開始以来、ベースラインサーベイ等による現状調査及びプロジェクト枠組みの構築が活動の中心であるため、各協力分野の活動は本格的には開始されておらず、大きな技術的な課題は発生していない。各協力分野の進捗状況は次のとおり。

3-1-1 ベースラインサーベイ

普及員を通じてチョンゲ郡内村落民リストを作成し、その結果2万476世帯が集まった。これを母集団として400世帯を抽出し、聞き取り調査を実施した。聞き取り調査は普及員が実施したため、ブロック及びキャンプ普及員28名に対して調査に係る研修を実施した。

聞き取り調査結果は、Farming Systems Association of Zambia(FASAZ)に分析を委託し、2003年3月中に最終報告書が完成予定。

3-1-2 村落開発

(1) パイロット・マイクロプロジェクトのモニタリング

1999年から2001年に実施された19件のパイロット・マイクロプロジェクトに関し、次のとおりモニタリングを実施予定。モニタリング結果は、普及員研修内容の改善、マイクロプロジェクトの実施成果の測定、ひいては効果的なザンビア孤立地域参加型村落開発計画（Participatory Village Development in Isolated Areas：PaViDIA）手法の確立に活用される予定。

モニタリング等の実施に際しては、普及員の移動手段の確保が重要であるが、2002年9月にチョンゲ郡で普及員のバイクが強奪される事件が発生したため、供与機材として調達したバイクのザンビア側への引き渡しを一時的に中止しており、活動の進捗に影響が生じている。

1) 1999年にチョンゲ郡で実施した2村

普及員によるベースラインサーベイを実施中。1村の調査はほぼ終了しているが、残りの1村の調査に必要な移動手段であるバイクの確保に時間がかかっており、調査終了時期は未定。移動手段を早急に確保することができれば、2003年5月に調査結果の分析が終了する見込みである。

当該2村においてはパイロット・マイクロプロジェクト実施時にもベースラインサーベイが実施されているため、同サーベイとの比較を行うことにより、参加型による村落開発の効果を測定することが可能。

2) 2000年にチョンゲ郡で実施した2村

2001年に実施した下記15件のモニタリングが終了したあとにモニタリングを実施する予定。

3) 2001年にチョンゲ郡で実施した8村

普及員が継続的にモニタリングをする体制を整備する。キャンプ普及員に質問表を配布し、聞き取り調査を終了した。調査結果を分析中。2005年まで継続的にモニタリングを実施する予定である。

4) 2001年にルアングア郡で実施した7村

質問表の作成が終了したため、モニタリング実施日程を調整中。

(2) 参加型村落開発手法

バングラデシュにあるアジア太平洋総合農村開発センター（Centre on Integrated Rural Development for Asia and the Pacific：CIRDAP）と連携して、参加型村落開発手法の人材育成を実施することを計画中であり、2003年1月から2月にかけてCIRDAPでルサカ州農業調整官事務所（Provincial Agricultural Coordination Office：PACO）職員の研修を実施したほか、2003年3月にCIRDAPから第三国専門家を招聘し、参加型村落開発手法のセミナーを実施予定。2003年度以降も、第三国専門家及び第三国研修によって、参加型村落開発手法の人材育成を継続する予定。

(3) マイクロプロジェクト

マイクロプロジェクトの実施件数、及び実施対象村をザンビア側と調整中。普及員研修終了後の2004年1月からアクションプランを作成し、2004年4月以降にマイクロプロジェクトを開始する予定である。

3 - 1 - 3 持続的農業

本プロジェクトにおける持続的農業の位置づけについて、関係者の認識を共有する必要があるため、意見交換等を実施してから本格的な活動を開始する予定。

(1) 優良事例調査

緑肥作物又は有機物の利用による土壌肥沃土管理、生物農薬等による防除、作物多様化、小規模灌漑、及び小規模畜産に関し、農家における優良事例及び農業試験研究機関等における推奨技術を調査するため、質問表を作成済みである。2003年3月第1週に普及員に対して同質問表のプレテストを実施し、第2週に質問表を確定、4月に調査を開始予定。

(2) 展示圃

優良事例調査の結果を踏まえて、展示圃の課題を設定予定であるが、現在のところ小

規模灌漑の利用による乾季作、及び 緑肥作物による土壌肥沃化を想定している。具体的な展示圃の設置場所は、活動計画（Plan of Operation：PO）確定後に調整する予定。

農業・協同組合省マウントマルク中央農業試験場との協力について、関係者と調整する必要がある。

3 - 2 執務環境及び施設整備

農業・協同組合省（Ministry of Agriculture and Co-operatives：MACO）及びチョンゲ郡農業調整官事務所（District Agricultural Coordination Office：DACO）に執務室が準備され、チーフアドバイザー及び調整員はMACO、村落開発専門家及び持続的農業専門家はチョンゲ郡DACOにおいて執務を開始した。ところが、2002年9月にチョンゲ郡で普及員のバイクが強奪される事件が発生したことから、村落開発専門家及び持続的農業専門家はルサカ州DACOに執務場所を移動することとなり、ルサカ州DACOに執務室が提供された。

チョンゲ郡DACO及びルサカ州DACOにおいては、執務スペースのみが提供されたため、家具等の事務所用品は日本側が負担した。

なお、協力開始当初はチョンゲ郡DACOで普及員等に対する研修として、同敷地内に井戸を掘削することを予定していたが、DACOにおいて研修を実施する予定がなくなったことから、井戸掘削を中止した。

3 - 3 専門家派遣

長期専門家4名（チーフアドバイザー、業務調整、村落開発、持続的農業）が派遣されている。業務調整、村落開発、持続的農業の3名は2002年6月1日に派遣されたが、チーフアドバイザーについては派遣が遅れ、2002年7月25日の派遣となった。ザンビア側からは特に改善要求等はないものの、プロジェクト活動の進捗に影響を及ぼしかねない事態であることから、今後は留意する必要がある。

なお2002年度は、2003年3月から1名の「持続的農業（土壌肥沃度管理）」短期専門家を約3か月間派遣する予定であり、当該分野の活動が本格化することが期待されている。

3 - 4 研修員受入れ

2002年度は、MACOフィールドサービス副局長及びチョンゲ郡農業調整官の2名に対し、住民参加型のプロジェクト、農民組織と政策の連携等の認識を深めることを目的とし、農民組織、普及等の政策に係る本邦研修を実施した。

両名とも、今後の本プロジェクトの実施において中心的役割を果たすことが確認された。ただし、現段階では、カウンターパートが確定していないことから、帰国研修員の定着を確実にする

ため、また研修成果をプロジェクトで活用するためにも、カウンターパートを早急に確定させる必要性は高い。については、2002年3月末までにカウンターパートを確定することを合同調整委員会で確認した。

3 - 5 第三国専門家及び第三国研修

トレイナーストレイニングの一貫として、2002年度はルサカ州PACO職員1名に対し、参加型村落開発手法の第三国研修をバングラデシュにあるCIRDAPで実施した。

また、2003年3月にCIRDAPから第三国専門家を招へいし、MACO職員を対象とした参加型村落開発手法のセミナーを実施する予定であり、セミナー計画を策定中である。

今後は、研修受講者が中心となって、ザンビア国内の関係者に参加型村落開発手法の技術移転を行っていく予定である。

3 - 6 機材供与

車両3台を調達したが、保険料（車両価格の8%）及び維持管理費をザンビア側が負担することが困難であるため、日本側が車両を管理している。ザンビア側が同経費の予算措置を行いしだい、MACO及びチョンゲ郡DACOに供与する予定。

また、2002年9月にチョンゲ郡で普及員のバイクが強奪される事件が発生したため、調達したバイク5台の供与を一時的に見合わせ、ルサカ州PACOで保管している。安全状況が改善しだい、供与を行う予定である。

プロジェクト事務所の執務機材として、パソコン4セット（MACO 1、PACO 1、DACO 2）、コピー機（MACO 1、DACO 1。ただし、専門家の執務場所変更後はDACOからPACOに移動）を日本側が投入した。

なお、携行機材として、パソコン3台（MACO 2、PACO 1）、プロジェクター、ビデオ、デジタルカメラ、カメラを日本から調達したほか、ファクシミリ2台（MACO）及びプリンター2台（MACO 1、DACO 1）、UPS3台（MACO 2、PACO 1）、スキャナー2台（MACO 1、DACO 1）をザンビア国内で調達した。

さらに、普及員の調査活動等に係る移動手段を確保するため、現地業務費で自転車14台を調達し、DACOに配置している。

3 - 7 ローカルコスト負担

MACOは、本プロジェクトに係る2002年度の実施経費の予算要求を行っていなかったため、2002年度は職員の出張旅費も含め、ほとんどローカルコスト負担を行うことができず、ザンビア側の負担は専門家執務場所の電話料金、光熱費（電気、水道）にとどまった。

2003年度は、本プロジェクトカウンターパートファンドを確保するべく予算要求を行っているが、3月上旬現在、財務省からの承認は下りていない。ただし、3月6日に開催された合同調整委員会において、MACO次官からカウンターパートファンドが承認されなくても、MACOの通常予算からプロジェクト実施経費を捻出する旨の発言があったことから、ザンビア側がカウンターパートの日当、供与機材の維持管理費等を負担することが見込まれる。

第4章 活動計画（Plan of Operation：PO）

4 - 1 実施体制

4 - 1 - 1 プロジェクト運営体制

2003年3月6日の合同調整委員会（Joint Coordinating Committee：JCC）でプロジェクト・デザイン・マトリックスプロジェクト（Project Design Matrix：PDM）が確定したため、同PDMを基に詳細な活動計画（Plan of Operation：PO）を策定し、同POに基づきプロジェクト運営体制を見直す予定である。3月中にプロジェクトマネジメント会合（Project Management Meeting：PMM）でPO、実施体制図及びカウンターパートリストを承認する予定。

4 - 1 - 2 他機関との連携

プロジェクト活動は開始したばかりであり、他機関との連携はほとんど行っていない。今後、プロジェクト活動が本格化する過程において、特に持続的農業分野において農業研究機関、普及関連機関、農業分野の民間団体等との連携が必要と思われる。

4 - 1 - 3 他ドナーとの連携

他ドナーとの連携は行っていないが、スウェーデン国際開発協力庁（Swedish International Development Cooperation Agency：SIDA）が、“The Economic Expansion in Outlying Areas Programme”を1995年から2002年まで実施し、同プログラムと他の農業分野の案件を統合した後継プログラム“Agriculture Support Programme”を2003年から2007年まで実施予定であるため、今後は情報交換及び連携を行うことが望ましい。SIDAは、5月ごろにAgriculture Support Programmeのプロジェクト目標などを確定するインセプションレポートを発表する予定であるため、同レポートを入手し、連携可能性を検討することが必要と思われる。

4 - 2 PDM

討議議事録（Record of Discussions：R / D）締結時に作成した暫定PDMを基にプロジェクト及びカウンターパートが議論を重ね、2月27日のPMM及び3月6日のJCCでPDM（Version 1）を作成、合意した。主な論点は次のとおり。

4 - 2 - 1 プロジェクト目標

旧目標は「普及員及び農家の人材育成を通じてモデルを確立する」であったが、人材育成を主目的にした活動を実施するとの誤解が生じたことから、本プロジェクトの目標がザンビアの孤立地域の開発に必要なモデルの開発であることを明確にするため、プロジェクト目標を「モ

デルを確立する」に変更した。

4 - 2 - 2 成 果

プロジェクト目標との関係を明確にするため、成果を3項目に整理した。

また、モデル確立のみを成果とするのではなく、確立された手法が農業・協同組合省(Ministry of Agriculture and Co-operating : MACO) の政策に取り入れられることを成果とした。

4 - 2 - 3 活 動

プロジェクト終了後に本プロジェクトで確立したモデルを他地域に展開するため、MACOの組織体制を強化する活動を追加した。本プロジェクトのために新たな組織を設置するのではなく、既存組織における本プロジェクトの担当を明確にし、本プロジェクトの活動をMACOの本来業務の一環とする予定である。

また、ベースラインサーベイは活動の基盤となるものであるため、活動として記載しないこととした。

4 - 3 活動計画 (Plan of Operation : PO)

3月6日のJCCでPDM(Version 1)が確定したため、同PDMを基にPOを2003年3月中に策定し、PMMで承認する。

4 - 4 年次活動計画 (Annual Plan of Operation : APO)

POと同じく、PDM (Version 1) を基に2003年度のAPOを2003年3月中に策定し、PMMで承認する。

4 - 5 モニタリング

JCCで定期会合、PO、報告書及び評価の実施計画を下記のとおり確認した(詳細は付属資料1 . ミニッツ参照)。

なお、MACOから、モニタリング体制を郡レベルで確立したいとの要望が出されたため、PMMなどで詳細を協議する必要がある。

4 - 5 - 1 定期会合

2003年2月に締結した包括ミニッツ及びR/Dに記載したとおり、月間会合、四半期会合及びJCCを実施することを確認し、各会合の議長を決定した。

4 - 5 - 2 PO

2002年2月に結んだ包括ミニッツのとおり、四半期活動計画、APO及びPOを策定することを確認し、APO及びPOについては、2003年3月中にPMMで承認することとした。

4 - 5 - 3 報告書

包括ミニッツで作成を決定した四半期報告書、及び年次報告書に加え、JICA報告を目的とした進捗報告書を6か月ごとに作成することとした。各報告書のフォーマットはPMMで決定する予定。

4 - 5 - 4 評価

2004年度、2006年度及び2008年度に合同で評価を実施することを確認した。

第5章 プロジェクト実施上の課題

5 - 1 運営面の課題

5 - 1 - 1 治安

2002年9月にチョンゲ郡普及員のバイクが強奪される事件が発生したことから、同地域での専門家の活動を制限し、また、供与機材であるバイクの供与を一時見合わせしていることから、ベースラインサーベイ等の進捗が遅れている。活動再開及びバイク供与を行うためには、同地域の治安状況の改善を確認する必要がある。そこで治安改善に係るザンビア政府の取り組み及び成果を書面で提出するように申し入れ、数週間の間回答を得られることとなった。回答受理後に対応方針の検討を行う。

5 - 1 - 2 農業・協同組合省 (Ministry of Agriculture and Co-operatives : MACO) とのコミュニケーション

本プロジェクトのプロジェクトダイレクターである計画・組合局長及びプロジェクトマネージャーであるフィールドサービス局長の関与が、2003年2月までは少なく、プロジェクト運営はフィールドサービス副局長が中心となって行われた。

計画・組合局長代行については、2月ごろからプロジェクトマネジメント会合 (Project Management Meeting : PMM) の議長を務め、3月の合同調整委員会 (Joint Coordinating Committee : JCC) でもザンビア側の投入を発表するなど、関与が高まってきたものの、フィールドサービス局長は健康上の理由から欠勤が多いほか、本プロジェクトの運営に関与しようとする意欲が低く、JCCも欠席した。継続的に本プロジェクトへの関与を働きかけることが必要と思われる。

なお、JCC議長を務めたMACO次官については、2月後半にパイロット・マイクロプロジェクトを視察し、孤立地域開発への関心を高めていることから、今後も関与を深めていくことを積極的に支援することが望ましい。

5 - 1 - 3 孤立地域開発に係る関係者の認識

「孤立地域」の定義、孤立地域開発に係る政策、孤立地域開発におけるモデルの役割、プロジェクト終了後の全国展開のあり方などについて、関係者の認識が異なっていることから、関係者によるワークショップを実施し、「孤立地域」の定義、孤立地域開発に係るザンビア政府の政策などを明確にするとともに、ザンビア政府の政策における本プロジェクトの位置づけを明確にすることが必要と思われる。

なお、「孤立地域」の定義については、MACOが本プロジェクト要請書に 交通網が未発達、市場から離れており市場情報が不足している、 農民組織が未成熟、 農業生産に対する自

然環境が劣悪、換金作物栽培の選択の少なさを孤立地域の条件として記載している。また、スウェーデン国際開発協力庁（Swedish International Development Cooperation Agency：SIDA）の協力によって、1995年から2002年まで実施していた“The Economic Expansion in Outlying Areas Programme”では、農村地域、遠隔地にあることによる不利益、著しい伝統的文化への依存、市場経済によって得られる機会に対する理解不足、開発プログラムによってもたらされる利益が少ないこと、を“Outlying Areas”の定義としてあげている。については、かかる既存の定義を基に、MACOの政策との整合性に留意しながら、MACO及び本プロジェクトの定義を確定し、全国展開の計画策定も同定義にのっとり行うこととする。

5 - 1 - 4 持続的農業

持続的農業の取り扱いについて、関係者の意見が統一されていないことから、持続的農業の定義及び持続的農業とマイクロプロジェクトの関連について、日本国内関係者も含めた議論を実施することが必要である。

5 - 1 - 5 マイクロプロジェクト実施資金

プロジェクト終了後に、確立した手法をザンビア政府が全国展開するための資金が必要となる。ザンビア政府による資金の確保が困難である場合は、なるべく早期に食糧増産援助（Second Kennedy Round：2 KR）見返り資金、海外経済協力基金（The Overseas Economic Cooperation Fund, Japan：OECF）見返り資金、ザンビア社会開発基金（Zambia Social Investment Fund：ZAMSIF）等の活用の可能性を検討することが望ましい。

特に、2 KR見返り資金については、MACO及び財務省が累積資金の活用案を募集していることから、本プロジェクト実施後の全国展開案を暫定的に策定し、提出することが望ましい。また、2003年3月中に活用基準が決定されるので、全国展開案が選考対象となるよう関係部局と調整する必要があると思われる。

5 - 1 - 6 MACOの組織改編

MACOは現在の5局体制を9局体制に再編することを計画しており、2003年1月からの2003年度予算は新体制での業務実施を前提としている。3月上旬の時点では正式に組織改編は決定されていないものの、近日中に組織改編することが予想されるため、動向に留意する必要がある。

現在のところ、本プロジェクトを担当している計画・組合局は組合開発局、市場・起業局及び政策・計画・情報局に改編され、フィールドサービス局は、農業局、獣医・畜産開発局、水

産局^{注2}に改編される予定である。組織改編後の本プロジェクト担当局は政策・計画・情報局及び農業局となると思われる。

5 - 1 - 7 各種会合

州及び郡レベルで、Project Operation Committee及び同会合のSub Committeeが開催されているが、会合の位置づけ、メンバー等についてMACOを含めた関係者の認識が統一されていないことから、整理する必要がある。

5 - 2 技術上の課題

プロジェクト活動が本格的に開始されていないことから、大きな技術上の課題は発生していない。2003年3月に活動計画が策定され、活動が本格化したあとに技術上の課題が生じることが予想される。必要であれば本格活動6か月後を目処に運営指導調査団、又は短期専門家を派遣し、技術上の課題を検討する。

^{注2} 組合開発局 = Department of Cooperatives Development、市場・起業局 = Department of Market and Entrepreneurship Development、政策・計画・情報局 = Department of Policy, Planning and Information、農業局 = Department of Agriculture、獣医・畜産開発局 = Department of Veterinary and Livestock development、水産局 = Department of Fisheries

付 属 資 料

- 1 . ミニッツ (PDMを含む)
- 2 . PDM仮和訳
- 3 . 合同調整委員会 (JCC) 配付資料 (プロジェクト進捗状況、両国投入を含む)
- 4 . 孤立地域の定義 (農業・協同組合省作成資料)
- 5 . 2001年にチョンゲ郡 8 村で実施したパイロット・マイクロプロジェクトの
モニタリング結果
- 6 . 優良事例調査の質問表 (案)
- 7 . 追加資料 (活動計画・実施体制図・カウンターパートリスト)

1. ミニッツ (PDMを含む)

MINUTES OF MEETINGS
BETWEEN
THE JAPANESE CONSULTATION STUDY TEAM
AND
MINISTRY OF AGRICULTURE AND CO-OPERATIVES
OF THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF ZAMBIA
ON JAPANESE TECHNICAL COOPERATION FOR THE PROJECT FOR
PARTICIPATORY VILLAGE DEVELOPMENT IN ISOLATED AREAS

The Japanese Consultation Study Team (hereinafter referred to as "the Team"), organized by Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr.Katsuhiko SASAKI, conducted a survey from 26th February to 7th March, 2003 in order to review the Project Design Matrix (hereinafter referred to as "PDM") and to discuss on major issues related to the implementation of The Project for Participatory Village Development in Isolated Areas (hereinafter referred to as "the Project").

During its survey, the Team exchanged views, and had a series of discussions with Ministry of Agriculture and Co-operatives (hereinafter referred to as "MACO"), the Government of Republic of Zambia (hereinafter referred to as "GRZ").

As a result of the discussions, the Team and the MACO agreed on matters referred to in the documents attached hereto.

6th March 2002

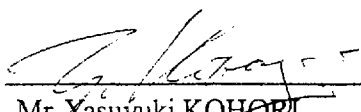
Lusaka, Zambia



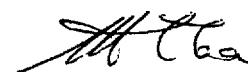
Mr. Katsuhiko SASAKI
Resident Representative
JICA Zambia Office
Japan International Cooperation Agency
(JICA)



Mr. Russell MULELE
Permanent Secretary
Ministry of Agriculture and Co-operatives
The Government of the Republic of Zambia



Mr. Yasuyuki KOHORI
Chief Advisor
Project for Participatory Village
Development In Isolated Areas (PaViDIA)



Dr. Hyde HAANTUBA
Acting Director
Planning and Co-operatives Department
Ministry of Agriculture and Co-operatives
The Government of the Republic of Zambia

ATTACHMENT 1

1 Project Activity Plan (PDM)

PDM was approved by the Joint Coordinating Committee Meeting held on 6th March 2003 as attached in ATTACHMENT 2.

Both Zambian and Japanese sides confirmed that the Plan of Operation (hereinafter referred to as "PO") and an Annual Plan of Operation (hereinafter referred to as "APO") will be finalized in accordance with the PDM and approved at Project Management Meeting by the end of March 2003.

Both sides confirmed that the PDM and the PO are subject to change through the approval of the Joint Coordinating Committee Meeting, within the framework of the Record of Discussions signed on 25th February 2002, when necessary.

2 Project Organization Chart and Counterpart List

Organization Chart and Counterpart List will be revised in accordance with PDM and PO, and will be approved by the Project Management Meeting at the end of March 2003.

3 Monitoring and Evaluation

The Project will conduct Monitoring and Evaluation as shown in ATTACHMENT 3. Detail of Monitoring and Evaluation method such as Report Format will be discussed at Project Management Meeting.

4 Major Points of Discussions and Agreement

4.1 Objective of the Project

The Team and MACO confirmed the Project's aim of establishing a model, which will be replicated in other isolated areas by GRZ after completion of the Project. Thus, the model should be established with careful consideration of resource availability of GRZ.

Also, both sides confirmed that all activities of the Project are conducted to establish the model.

4.2 Implementation of the Project

The Team emphasized that any developmental project, including this project, supported by cooperating partner requires firm mutual cooperation between implementer and cooperating partner. MACO is the implementer and JICA is the cooperating partner of the Project. Both sides confirmed that they should take initiatives and commit themselves to the successful implementation of the Project. This includes policy guidance, legal backing and prioritized resource allocation to achieve Project Purpose.

4.3 Operational and Recurrent Costs

⑨
\$

Ru
H.H.

Both sides confirmed that costs for Japanese and third country experts, conducting training in Japan and third countries, provision of equipments will be borne by JICA. Additionally, in JFY2003, JICA tentatively budgeted for implementing training programme in Zambia for 15 extension officers (tentatively 18 days), and identifying, selecting and demonstrating sustainable agricultural practices for small scale farmers in the targeted isolated villages, upon the request by GRZ.

Operational and recurrent cost accrued as result of implementing of the Project such as allowances for GRZ officers, transport refund, fuels and lubricants, maintenance for GRZ vehicles (including insurances and taxes), maintenance services for offices (telephone, electricity and sewerage etc.), and stationery should be borne by GRZ.

4.4 "Isolated Area" in Zambian National Policy

Since the Project should be a part of MACO's policy implementation on poverty reduction in isolated areas of Zambia, definition of "Isolated Area" and MACO's policy on poverty reduction in isolated areas are the bases of the Project.

MACO defined "Isolated Area" as Areas with 1. underdeveloped infrastructure, 2. remote from markets and limited market information, 3. underdeveloped farmer's organizations, 4. harsh agronomic features, and 5. few options in terms of production of marketable commodities.

Upon the proposed definition, both sides agreed to discuss continuously to finalize the definition of "Isolated Area" in the Project, and also to clarify the role of the Project in the MACO's policy.

4.5 Institutionalization

MACO would start institutionalization that is stated in 3-1 of PDM immediately.

4.6 Expansion of the Project

The GRZ undertakes to implement expansion projects as stated in 3-2-5 of the PDM.

②
D-1

Ru
H-H

Project Design Matrix

Project Title: The Project for Participatory Village Development in Isolated Areas

ATTACHMENT 2
as of 6th March 2003

Target group: Extension officers and rural households in Chongwe District

Target area: Chongwe District

Duration: 7years

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumptions
<p>Super Goal Poverty reduction in isolated areas of Zambia</p>	<p>1 Income of community increased 2 Nutrition status enhanced</p>	<p>Living Conditions monitoring survey (Central Statistical Office)</p>	
<p>Overall Goal The model for sustainable participatory village development in isolated areas established by the Project will be realised and replicated in other areas for poverty reduction.</p>	<p>1 Number of micro-projects implemented 2 Increased agricultural production 3 Increased farmers' income 4 Increased agricultural diversification 5 Number of continued productive activities owned by villagers 6 Improved condition of social amenities 7 Improved condition of health</p>	<p>Monitoring and evaluation survey Other related surveys</p>	<p>1 Climate condition remains favourable. 2 Stable macro-economic environment 3 Government commitment to support village development in isolated areas</p>
<p>Project Purpose To establish a practical model for sustainable participatory village development in isolated areas</p>	<p>1 Inclusion of model approach into agricultural policy and sector programme 2 Improvement of living condition in targeted villages</p>	<p>Government agricultural policy document Final evaluation study Baseline survey Monitoring survey of micro-project Other related surveys</p>	<p>1 Government commitment to support village development in isolated areas</p>
<p>Outputs</p> <p>1. Sustainable agricultural practices for small-scale farmers in the targeted isolated villages would have been identified and demonstrated</p> <p>2. Participatory village development method for isolated areas based on PASViD would have been modified and established</p> <p>3. Established method would have been adopted and incorporated in MACO's programme as a model for development of isolated areas</p>	<p>1-1 Number of identified sustainable agricultural practices 1-2 Utilisation of identified agricultural practices in micro-projects 1-3 Number and types of demonstration carried out</p> <p>2-1 Performance of action plans. 2-2 Status of micro-project management 2-3 Frequency of villagers' participation to activities 2-4 Number of future plan in the village 2-5 Number of communal activities</p> <p>3-1 Drafted plan for isolated areas development in which PaViDIA model is incorporated at national level 3-2 Number of selected areas of expansion 3-3 Number of adopted demonstrated practices 3-4 Number of demonstrations carried out 3-5 Number of plan for micro-projects in other villages</p>	<p>Government agricultural policy document Survey for good examples Applications for micro-project Work plans and progress reports Monitoring survey of micro-project Mid-term and final evaluation study</p>	<p>1 Government commitment to support village development in isolated areas</p>

Activities	Input		
1-1 Identification of sustainable agricultural practices for small scale farmers in the targeted isolated villages 1-2 Selection and demonstration of sustainable agricultural practices for small scale farmers in the targeted isolated villages 1-3 Production of field manuals on sustainable agricultural practices for the training programme	(Japanese side) 1 Dispatch of long term Experts Chief advisor Coordinator Village development Sustainable agriculture	(Zambian side) 1 Assignment of counterpart personnel Director, Dept. of Planning and Co-operatives (Project Director) Director, Dept. of Field Services (Project Manager) Deputy Director (Ext.), Department of	1 Trained extension officers continue their work.
2-1 Monitoring on pilot micro-projects for giving feedback on the training programme 2-2 Establishment of training programme for extension officers 2-3 Facilitation of phase 1 micro-projects for village development in isolated areas by extension officers 2-4 Modification and/or produce of manuals for training programme 2-5 Documentation of the PaViDIA implementation process	2 Dispatch of short term Experts Small-scale irrigation Livestock Agricultural extension Others, if necessary	Field services (Assistant Project Manager) Director, Dept. of Research and Specialist Services Deputy Director (Soils & Crops), Dept. of Research and Specialist Services	(Pre-conditions) 1 Agricultural extension staffing levels at district and camp levels maintained 2 Law and order in the targeted area maintained
3-1 Institutionalization of the project activities within the Ministry of Agriculture and Co-operatives 3-2 Preparation for expansion of PaViDIA 3-2-1 Training trainers of staff from national headquarter 3-2-2 Examination of replicability of PaViDIA model 3-2-3 Selection of prioritized areas of expansion 3-2-4 Sensitization on PaViDIA 3-2-5 Drafting of expansion projects using PaViDIA model	3 Acceptance of Zambian personnel for training in Japan and third countries. 4 Budgetary allocation for micro-projects. 5 Provision of machinery and equipment.	Provincial Agricultural Coordinator (PACO) Senior Field Service Coordinator (SFSCO) District Agricultural Coordinator (DACO) Senior Agriculture Officer (SAO) Subject Matter Specialist (SMS) Extension Officers 2 Administrative personnel Drivers, Farm staffs, Secretaries. 3 Land, building and facilities necessary for the Project. 4 Budgetary allocation for local costs.	

Handwritten marks: a circled '5' and some illegible scribbles.

-25-

Handwritten signature: H.H. with a large flourish above it.

95
7

Monitoring and Evaluation

Monitoring

	Monthly	Quarterly	Semi-Annually	Annually	Project
Meeting	Monthly Meeting (Chair: Provincial Agricultural Coordinator)	Project Management Meeting (Chair: Project Director)		Joint Coordinating Committee (Chair: Permanent Secretary)	
Operation Plan		Quarterly Plan of Operation (Approve: Project Management Meeting)		Annual Plan of Operation (APO) (Approve: Joint Coordinating Committee)	Plan of Operation (PO) (Approve: Joint Coordinating Committee)
Progress Report		Quarterly Progress Report (Preparation: Project Director)	Semi-Annual Progress Report (Preparation: Project)	Annual Report (Preparation: Project Director)	

Evaluation

Joint Evaluation will be conducted in JFY 2004, 2006 and 2008, using five (5) criteria stipulated in Record of Discussion (R/D).

11.11

Project Design Matrix (和訳)

プロジェクトタイトル: ザンビア孤立地域参加型村落開発計画

対象グループ: チョングエ郡の農民及び普及員

対象地域: チョングエ郡

期間: 7年

2003.3.6

プロジェクト要約	指 標	指標入手手段	外部条件
スーパーゴール ザンビアの孤立地域の貧困が軽減される。	1 コミュニティの収入の向上 2 栄養状態の改善	Living Conditions Monitoring Survey (中央統計局)	
上位目標 プロジェクトで確立された、孤立地域の貧困削減を目的とした持続的参加型村落開発モデル (PaViDIAモデル) が他の地域で実現・展開される	1 実施されたマイクロプロジェクトの数 2 農業生産の増加 3 農家収入の増加 4 農業生産の多様化 5 村落農民が継続している生産活動の数 6 社会的環境の改善 (教育、保健、公共施設等) 7 健康状態の改善	モニタリング・評価調査 その他関連調査	1 天候が安定する 2 マクロ経済環境が悪化しない 3 ザンビア政府の孤立地域開発支援が継続する
プロジェクト目標 孤立地域の持続的参加型村落開発モデル (PaViDIAモデル) が確立される	1 PaViDIAモデルの農業政策及びセクタープログラムへの反映 2 対象村落の生活向上	ザンビア政府の農業政策資料 ベースライン調査 マイクロプロジェクトのモニタリング調査 終了時評価調査 その他関連調査	ザンビア政府の孤立地域開発支援が継続する
成果 1 対象孤立地域における小規模農家向けの持続的農業の取り組みが確認され、展示される 2 PASViD (参加型持続的村落開発アプローチ) をベースとした、孤立地域に対する参加型村落開発手法が改良され、確立する 3 確立された手法が農業協同組合省の (開発) 計画に孤立地域開発のモデルとして組み込まれる	1-1 確認された持続的農業の取り組みの数 1-2 確認された持続的農業の取り組みのマイクロプロジェクトでの活用度 1-3 持続的農業の展示数及びタイプ 2-1 アクションプランの充実度 2-2 マイクロプロジェクト管理状況 2-3 農民の活動への参加頻度 2-4 村落における将来計画策定数 2-5 村落共同活動数 3-1 PaViDIAモデルが活用された孤立地域開発計画が国家レベルで作成される。 3-2 選定された拡大地域数 3-3 展開された持続的農業の展示数 3-4 展開された持続的農業の展示の数 3-5 他地域でのマイクロプロジェクト実施計画数	ザンビア政府の農業政策資料 優良事例調査 マイクロプロジェクト申請書 ワークプラン及びプログレスレポート マイクロプロジェクトのモニタリング調査 中間・終了時評価調査 その他関連調査	ザンビア政府の孤立地域開発支援が継続する
活動 1-1 対象孤立村落の小農による持続的農業の取り組みを確認する 1-2 対象孤立村落の小農による持続的農業の優良事例の選択及び展示を行う 1-3 持続的農業の研修プログラムに係るフィールドマニュアルを作成する 2-1 パイロット・プロジェクトのモニタリングを行い、結果を研修プログラムに反映させる 2-2 普及員向けの研修プログラムを確立する 2-3 普及員がマイクロプロジェクトのファシリテーションを行う 2-4 研修プログラム教材の作成及び改善を行う 2-5 PaViDIAモデルの手順を記録する。 3-1 プロジェクト活動を農業協同組合省の業務に組み込む 3-2 PaViDIAモデルの展開の基盤を固める 3-2-1 農業協同組合省本省の担当職員研修を行う 3-2-2 PaViDIAモデルの全国展開可能性を検証する 3-2-3 PaViDIAモデルの展開を行う優先地域を選択する 3-2-4 PaViDIAモデルの普及啓蒙を行う 3-2-5 PaViDIAモデルを用いた孤立地域開発プロジェクトのドラフトを作成する	投 入 日本側 1 長期専門家 チーフアドバイザー 業務調整 村落開発 持続的農業 2 短期専門家 小規模灌漑 畜産 普及手法 その他 3 研修員受入 本邦及び第三国 4 ローカルコスト マイクロプロジェクト 5 機材供与	ザンビア側 1 カウンターパート 計画・農業開発局長 (プロジェクトディレクター) フィールド事業局長 (プロジェクトマネージャー) フィールド事業局副局長 (アシスタントプロジェクトマネージャー) 研究・スペシャリストサービス局長 研究・スペシャリストサービス副局長 ルサカ州農業調整官 シニアフィールド事業調整官 チョングエ郡農業調整官 シニア農業官 専門技術員 農業普及員 2 その他スタッフ 運転手、農場スタッフ、秘書 3 土地、建物、その他プロジェクトの推進に必要なもの。 4 ローカルコスト	研修を受けた普及員が業務を継続する 前提条件 1 郡及びキャンプレベルの普及員の配置について現在の水準が維持される 2 対象地域の治安が維持される

*プロジェクト開始前に個別専門家の指導により実施されたマイクロプロジェクトを「パイロット・マイクロプロジェクト」、本プロジェクトにおいて実施するマイクロプロジェクトを「フェーズ1 マイクロプロジェクト」と記載。

3. 合同調整委員会（JCC）配付資料（プロジェクト進捗状況、両国投入を含む）

Joint Coordinating Committee Meeting

PROJECT FOR PARTICIPATORY VILLAGE DEVELOPMENT IN ISOLATED AREAS

Japan International Cooperation Agency

Ministry of Agriculture and Co-operatives

6th March 2003

Lusaka, Zambia

AGENDA OF THE JOINT CO-ORDINATING COMMITTEE MEETING

- | | |
|---|---|
| 1. Adoption of Agenda | Mr. M. R. MULELE
Permanent Secretary |
| 2. Opening Remark | Mr. M. R. MULELE
Permanent Secretary |
| 3. Reviewing the overall progress of the technical co-operation programme | Dr. R. KAMONA
Deputy Director, Department of Field Services |
| 4. Reviewing measures taken by the Government of Japan | Mr. Jun HIRASHIMA
Coordinator |
| 5. Reviewing measures taken by the Government of Zambia | Dr. Hyde HAANTUBA
Acting Director, Department of Planning and Co-operative Development |
| 6. Modification of the Project Design Matrix (PDM) | Dr. R. KAMONA
Deputy Director, Department of Field Services |

**Joint Coordinating Committee
Attendants List**

Zambia Side

Mr. M. R. MULELE	Permanent Secretary
Dr. Hyde HAANTUBA	Acting Director, Department of Planning and Co-operative Development
Mr. L. J. MWALE	Director, Department of Field Service
Dr. R. KAMONA	Deputy Director, Department of Field Services
Dr. P. SINYANGWE	Director, Department of Research and Special Services
Mr. A. CHALABESA	Deputy Director, Department of Research and Special Service
Mrs. C. SHIKANYIKA	Senior Field Service Coordinator, Lusaka Province For Lusaka Provincial Agricultural Coordinator
Mr. P. CHIYANIKA	Chongwe District Agricultural Coordinator
Mr. L. SIKAONA Mrs. K..B. N. MUVUNDIKA	Japan Desk Officer, Department of Planning and Co-operative Development

Japan Side

Mr. Yasuyuki KOHORI	Chief Advisor
Mr. Jun HIRASHIMA	Coordinator
Mr. Hiroyuki KANAZAWA	Village Development Expert
Mr. Akira MATSUDA	Sustainable Agriculture Expert
Mr. Katsuhiko SASAKI	Resident Representative, JICA Zambia Office (Study Team Leader)
Ms. Kai KIKUIRI	Programme Officer, JICA Headquarter (Study Team Member)

Achievement of Outputs (from June, 2002 to November, 2002) ("Output" must be the same as the description in PDM)

Outputs	Indicators	Targets in this term	Achievements in this term	Reasons if planned targets were not satisfied
1. The village socio-economic condition and the current farming system of small scale farmers in the targeted isolated villages would have been clarified	1-1 Classification of needs	Produce of villagers list of the targeted area	Villagers list of 20,746 households in the target area was made	1-1 Collections of the questionnaires were delayed because of incident in Chongwe District although we have collected all of the questionnaires by 19 th Nov. 2002 1-2 Analysis of the survey results were delaying. 5-1 During the period of baseline survey (July to Sept.), there was no time for monitoring. 5-2 October and November were occupied with budget planning and PDM adjustment meeting. 5-3 Time was consumed for solving immediate problems.
		Design of Questionnaire	Questionnaire was designed through implementation of field pre-test and training workshop with extension officers	
		Implementation of training workshop for interviewer	Training workshop was held with participation of 29 extension officers	
		Selection of survey samples and implementation of the field survey	400 of survey samples were selected and surveyed by extension officers	
5. Participatory Approach to Sustainable Village Development as a model for isolated areas development would have been established	5-1 Drafted plan for isolated areas development in which PASVID is incorporated at national level	Produce of baseline survey report	on going	Necessary countermeasures
		Monitoring on 19 pilot micro-projects	8 pilot micro-projects were monitored the current situation. Following monitoring schedule has been planed.	1-1 Contracted with Farming System Association of Zambia (FASAZ) for analysis and report writing of the survey result 5-1 Starting from December, the activity will be able to resume. 5-2 Future vision will be fixed through adjusting PDM and PO.
		Considering necessary measure for expansion	Few meeting was held	Impact (expected/unexpected)

Progress of Activities for each Output (Output No. in the PDM and its description ;)

Progress of activities									Problems in this term	Targets and activities in the next term
Activities	Planned	6	7	8	9	10	11	12		
	Actual	6	7	8	9	10	11	12		
1-1 Planning of the survey	P		⇒⇒⇒							(Targets) 3 Preparation of training material 5-1 To assess pilot micro-projects to feedback to the training and PASViD in order to improve the contents of them
	A		→→→							
1-2 Implementation of the survey	P				⇒⇒⇒				Collection of questionnaires were delayed because five motor-bikes for block extension officers were not distributed due to occurrence of incident in Chongwe District.	5-2 Establishment of monitoring format for micro-projects 5-3 Clarification of the future vision and necessary arrangement
	A				→→→→					
1-3 Analysis of the result	P					⇒⇒⇒				(Activities plan) 2-1 Design of questionnaire of the preliminary survey 2-2 Selection of good examples 2-3 Implementation of the good example survey in the villages 2-4 Implementation of recommendable agricultural techniques survey in agricultural research institute 2-5 Analysis of the result of the survey 3-1 Produce of text 3-2 Design of curricula and contents 5-1 Preparation of questionnaire for the first pilot micro-projects 5-2 Participatory evaluation for the first two villages
	A					→→→				
5-1 Monitoring and advising on pilot micro-projects	P	⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒								2-1 Design of questionnaire of the preliminary survey 2-2 Selection of good examples 2-3 Implementation of the good example survey in the villages 2-4 Implementation of recommendable agricultural techniques survey in agricultural research institute 2-5 Analysis of the result of the survey 3-1 Produce of text 3-2 Design of curricula and contents 5-1 Preparation of questionnaire for the first pilot micro-projects 5-2 Participatory evaluation for the first two villages
	A	→→						→		
5-5 Examination on issues and solutions for expansion of Isolated Areas Development using PASViD model to national level	P	⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒							Time was consumed for solving immediate problems	5-3 Preparation of monitoring format for pilot micro-projects 5-4 Analysis on pilot micro-projects 5-5 To discuss future vision and to set target
	A									
Progress of technology transfer to C/P										

6th March, 2003

Measures taken by the Government of Japan

1. Dispatch of long-term experts

- (1) Chief advisor – Mr. Kohori (from July 2002 to date)
- (2) Coordinator – Mr. Hirashima (from June 2002 to date)
- (3) Village development – Mr. Kanazawa (from June 2002 to date)
- (4) Sustainable agriculture – Mr. Matsuda (from June 2002 to date)

2. Dispatch of short-term experts

- (1) Rural Development - Dr. Solaiman (CIRDAP – Bangladesh, from 8th to 16th March 2003)
- (2) Soil fertility management – Dr. Tsuji (from March 2003 to June 2003)

3. Acceptance of Zambian personnel for training in Japan and third country

- (1) Rural Development Planning – Dr. Kamona (Deputy Director (Extension) of Field Services, from 29th September to 17th October, 2002)
- (2) Rural Development Planning – Mr. Chiyanika (DACO (Chongwe), from 29th September to 17th October, 2002)
- (3) Participatory Village Development – Mr. Chuunka (Subject Matter Specialist (Lusaka PACO's office), from 31st January to 21st February, 2003)

4. Provision of equipment

- (1) x2 4WD station wagons (Pajero); USD47,800
- (2) x1 4WD pick-up truck (Hilux); USD17,000
- (3) x3 Photocopy machines; ZMK12,189,000
- (4) x4 Personal computers; USD8,308
- (5) x5 Motorbikes (Yamaha AG200); USD14,500
- (6) x14 Bicycles; ZMK4,130,000

5. Budgetary allocation for local costs (from June,2002 to February, 2003)

Total: K39,965,563 (Official launch, Baseline survey, etc.)

REVIEW OF MEASURES TAKEN BY GRZ

1. Project Personnel:

GRZ has met all the necessary personnel requirements of PaViDIA project. The directors who are supposed to be members of the Project Management Meeting (PMM) are in place and are contributing to the management of the project. Other personnel government has put at the disposal of the project are the PACO, SFSCO, Chongwe DACO, SAO, the Subject Matter Specialist (SMS) and extension officers.

2. Administrative Personnel:

Since project is operating within the Ministry, personnel such as Drivers and secretaries in the Ministry are also at the disposal of the JICA experts.

3. Buildings and facilities necessary for Project:

The project has been housed at headquarters, at the provincial office and at Chongwe although the experts are currently operating from the provincial office.

4. Budgetary Allocation for Local costs:

In the first year of the project (2002), there was no budgetary allocation (i.e. Counterpart funds for PaViDIA) for the project and thus local costs were being met from the normal allocations (RDCs) to Chongwe district and the PACO's office.

This year, however, provision for counterpart funding was done although it was not reflected in the Yellow book. What we have done is to make a resubmission of the same to the Ministry of Finance & National Planning. This should not be worry some because even though their consideration is not positive we have items in the yellow book where funds could be varied to secure counterpart funds for the project.

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumptions
<p>Super Goal</p> <p>Poverty reduction in isolated areas of Zambia</p>	<p>1 Income of community increased</p> <p>2 Nutrition status enhanced</p>	<p>Living Conditions monitoring survey (Central Statistical Office)</p>	
<p>Overall Goal</p> <p>The model for sustainable participatory village development in isolated areas established by the Project will be realised and replicated for poverty reduction in other areas.</p>	<p>1 Number of micro-projects implemented</p> <p>2 Increased agricultural production</p> <p>3 Increased farmers' income</p> <p>4 Increased agricultural diversification</p> <p>5 Number of continued productive activities owned by villagers</p> <p>6 Improved condition of social amenities</p> <p>7 Improved condition of health</p>	<p>Monitoring and evaluation survey</p> <p>Other related surveys</p>	<p>1 Climate condition remains favourable.</p> <p>2 Stable macro-economic environment</p> <p>3 Government commitment to support village development in isolated areas</p>
<p>Project Purpose</p> <p>To establish a practical model for sustainable participatory village development in isolated areas</p>	<p>1 Inclusion of model approach into agricultural policy and sector programme</p> <p>2 Improvement of living condition in targeted villages</p>	<p>Government agricultural policy document</p> <p>Final evaluation study</p> <p>Baseline survey</p> <p>Monitoring survey of micro-project</p> <p>Other related surveys</p>	<p>1 Government commitment to support village development in isolated areas</p>
<p>Outputs</p> <p>1. Sustainable agricultural practices for small-scale farmers in the targeted isolated villages would have been identified and demonstrated</p> <p>2. Participatory village development method for isolated areas based on PASViD would have been modified and established</p> <p>3. Established method would have been adopted and incorporated in MACO's programme as a model for development of isolated areas</p>	<p>1-1 Number of identified sustainable agricultural practices</p> <p>1-2 Utilisation of identified agricultural practices in micro-projects</p> <p>1-3 Number and types of demonstration carried out</p> <p>2-1 Performance of action plans.</p> <p>2-2 Status of micro-project management</p> <p>2-3 Frequency of villagers' participation to activities</p> <p>2-4 Number of future plan in the village</p> <p>2-5 Number of communal activities</p> <p>3-1 Drafted plan for isolated areas development in which PaViDIA model is incorporated at national level</p> <p>3-2 Number of selected areas of expansion</p> <p>3-3 Number of adopted demonstrated practices</p> <p>3-4 Number of demonstrations carried out</p> <p>3-5 Number of plan for micro-projects in other villages</p>	<p>Government agricultural policy document</p> <p>Survey for good examples</p> <p>Applications for micro-project</p> <p>Work plans and progress reports</p> <p>Monitoring survey of micro-project</p> <p>Mid-term and final evaluation study</p>	<p>1 Government commitment to support village development in isolated areas</p>

Activities	Input		
1-1 Identification of sustainable agricultural practices for small scale farmers in the targeted isolated villages 1-2 Selection and demonstration of sustainable agricultural practices for small scale farmers in the targeted isolated villages 1-3 Production of field manuals on sustainable agricultural practices for the training programme	(Japanese side) 1 Dispatch of long term Experts Chief advisor Coordinator Village development Sustainable agriculture	(Zambian side) 1 Assignment of counterpart personnel Director, Dept. of Planning and Co-operatives (Project Director) Director, Dept. of Field Services (Project Manager) Deputy Director (Ext.), Department of	1 Trained extension officers continue their work.
2-1 Monitoring on pilot micro-projects for giving feedback on the training programme 2-2 Establishment of training programme for extension officers 2-3 Facilitation of phase 1 micro-projects for village development in isolated areas by extension officers 2-4 Modification and/or produce of manuals for training programme 2-5 Documentation of the PaViDIA implementation process	2 Dispatch of short term Experts Small-scale irrigation Livestock Agricultural extension Others, if necessary 3 Acceptance of Zambian personnel for training in Japan and third countries.	Field services (Assistant Project Manager) Director, Dept. of Research and Specialist Services Deputy Director (Soils & Crops), Dept. of Research and Specialist Services Provincial Agricultural Coordinator (PACO)	(Pre-conditions) 1 Agricultural extension staffing levels at district and camp levels maintained 2 Law and order in the targeted area maintained
3-1 Institutionalization of the project activities at national level (Establishment of PaViDIA unit) 3-2 Preparation for expansion of PaViDIA 3-2-1 Training trainers of staff from national headquarter 3-2-2 Examination of replicability of PaViDIA model 3-2-3 Selection of prioritized areas of expansion 3-2-4 Sensitization on PaViDIA (national, provincial, NGOs and donors) 3-2-5 Drafting of expansion projects using PaViDIA model	4 Budgetary allocation for micro-projects. 5 Provision of machinery and equipment.	Senior Field Service Coordinator (SFSCO) District Agricultural Coordinator (DACO) Senior Agriculture Officer (SAO) Subject Matter Specialist (SMS) Extension Officers 2 Administrative personnel Drivers, Farm staffs, Secretaries. 3 Land, building and facilities necessary for the Project. 4 Budgetary allocation for local costs.	

4. 孤立地域の定義（農業・協同組合省作成資料）

DEFINITION OF "ISOLATED AREA"

1. Isolated areas in Zambia are characterised by the following features:

- i. Areas having an underdeveloped transportation network
- ii. Areas that are remote from markets, have limited local markets and receive limited market information
- iii. Areas that have underdeveloped farmers' organisations
- iv. Areas that have harsh agronomic features
- v. Areas that have few options in terms of production of marketable commodities

Isolated areas are generally characterised by poor access to safe drinking water, high percentages of stunted growth and low body weight among children under the age of five. People living in these areas have great difficulty in getting by.

(Definition from Proposal for the Expansion of PaViDIA)

2. Outlying Area:

Main features:

- i. Rural Areas
- ii. Disadvantaged by their remoteness
- iii. Steeped in the dependency culture of the past
- iv. Slow to understand opportunities in a free market environment
- v. Have little interface between farmers and development programmes.

(Definition from EEOA Facilitator's Manual)

3. Rural Area:

5 . 2001年にチョンゲ郡 8 村で実施したパイロット・マイクロプロジェクトのモニタリング結果

Monitoring Results for Pilot Micro-project

Question 1

How did you select the village?

Village name	Description
Mpansha Camp Malisau village Size: 51 H.H Distance: 131km	Followed the PASViD criteria a. Village cooperation b. Size of the village c. Distance from d. No assistance from other NGOs e. Capacity of village head / opinion leader (Leadership) f. Past experience of communal work
Chiyota Camp Malakata Village Size: 101 H.H Distance: 36km	Reputation of good community work participation of villagers. a. I.e. Work at school b. Ability to organize themselves as a village
Chinkuli Camp Chipyela Village Size: 105 H.H Distance: 30km	Followed own criteria a. Size of the village b. Accessibility c. Leadership of organization d. Eagerness of the villagers towards the development
Sinjela Camp Mwalubemba Village Size: 130 H.H Distance: 113km	a. Basis of participation towards communal project b. Isolation from some facilities such as school and main road (Major reason)
Njolwe Camp Njolwe village Size: 117 H.H Distance: 50km	Set the criteria and prioritized depending on the village basic data collected. a. Level of illiteracy b. Population c. Location of the village (center)
Chainda Camp Shisholeka Village Size: 124 H.H Distance: 8 km	Set the criteria a. Eagerness of leaders towards development b. Eagerness of villagers towards development c. Availability of local resources
Lukoshi Camp Shibali Village Size: 108 H.H Distance: 32km	Based on basic village data Criteria a. Cooperation of the villagers b. Village size
Kapete Camp Koto Village Size: 142 H.H Distance: 14	

Question 3

How did you explain on the principle of PASViD?

Village name	Description
Malisau	<p>Requirements:</p> <p>a. Villagers' participation in;</p> <ul style="list-style-type: none"> *problem identification *analysis *implementation *evaluation <p>b. Villagers should be willing to provide;</p> <ul style="list-style-type: none"> *local materials *labour <p>c. Villagers to realize ownership of the prospect</p>
Chiyota	<p>a. Principle of PASViD</p> <ul style="list-style-type: none"> *full community participation without payment *ownership to their own development *Capacity building of community residents
Chipyela	<p>For sustainable village development</p> <p>a. The masters in developing their own village are the villagers themselves. (Principle:ownership)</p> <p>b. Full community participation</p> <p>c. Capacity building</p>
Mwalubemba	<p>Principle</p> <p>a. Full community participation without payment</p>
Njolwe	<p>Explanation was done using participatory methods. The beneficiaries did not well understand.</p>
Shisholeka	<p>Procedure description;</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. local leadership, opinion leaders 2. general meeting with all the villagers
Shibali	<p>First of all, met the village headman and explain following;</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. full community participation including women and youth <p>the members of village including the village committee were met at different date and explained the principal</p>
Koto	<p>Through PRA, PCM workshop, village meeting</p>

Question 4

Was the action plan originated PASViD or PEA?

village	Method
Malisau	PASViD
Malakata	PASViD
Chipyela	PASViD
Mwalubemba	PASViD
Njolwe	PASViD
Shisholeka	PASViD
Shibali	PASViD
Koto	PASViD

Question 5

Fill the blank from workshop to implementation of Micro-project

	Malisau	Malakata	Chipyela	Sinjela	Njolwe	Shisholeka	Shibali	Koto
PCM workshop	28/11/00	02/01/01	27/11/00	29/11/00	21/12/00	20/09/00	28/11/00	07/12/00
Action plan	27/12/00	05/01/01	08/12/00	15/12/00	07/01/01	27/09/00	09/12/00	07/12/00
Receipt of capital	10/12/01	24/12/01	26/12/01	24/12/01	26/12/01	12/12/00	19/12/01	02/12/01
Amount (k)	19,560t	38,730t	39,000t	49,000t	44,000t	49,128t	42,599t	53,947t
Start of expenditure	10/01/02	24/12/01	15/02/02	03/01/02	04/01/02	12/12/00	19/12/01	12/12/01

Note: t ..thousand

Question 6

How did the villagers work for the construction of the facility?

And did the participants receive any money?

	Thorough hired	Partly hired communal work	Thorough communal	Money involved	
				yes	no
Malisau			⊙		⊙
Malakata			⊙		⊙
Chipyela			⊙		⊙
Mwalubemba			⊙		⊙
Njolwe		⊙		⊙	
Shisholeka			⊙		⊙
Shibali		⊙			⊙
Koto		⊙			

Shibali	1. Hammer mill 2. ADP(4Donkeys) 3. Storage 4. Yenga press (Replaced to groceries stuff for community shop) 5. Rural health centre 6. Sewing machine	Completed Completed Completed Completed On going One bought	108 H.H 108H.H 108H.H 108H.H
Koto	1. Sewing machine x3 2. Carpentry tools 3. Orange tree 4. Community hall 5. ADP a. Donkeys b. Plough 6. Agro-inputs a. Seeds b. Fertilizers 7. Road rehabilitation	Completed Completed Completed On-going On-going Completed Completed	142H.H 142H.H 142H.H 142H.H 142H.H 142H.H 142H.H

Reason to be stuck

	Component	Reason
Malisau		
Malakata	Dip tank / Piggery	Shortage of money (Capital less funded)
Chipyela	Well / Bridge	Delayed; Busy due to food shortage
Mwalubemba	Animal traction	Due to no availability of Donkeys
Njolwe	Teachers house Yenga press Bore hole	1. High cost of building materials 2. High transport cost 3. Poor explanation to villagers by the officer 4. Inadequate supervision by the officer 5. Low participation due to agricultural season 6. Shortage of fund 7. Poor participation of villagers (observed)
Shisholeka	Water well Animal traction	1. Villagers are busy due to agricultural season Villagers will resume soon
Shibali	Health centre	Due to farming season, the work is delayed.
Koto	Community hall ADP	No time for labour because farmers have to work for food because of draught last season caused hanger.

Question 8

Countermeasures to restart the stuck project)

	Problems	Countermeasures
Malisau	Hammer mill broke down	Made fund by selling the maize which is part of repayment of fertilizer loan, and took the engine of the machine for repara. It is working now.
Malakata	Dip tank	The project committee to call for meeting with all the villagers. Raise money from the component completed, and finance the stuck project.
Chipyela		
Mwalubemba	ADP	Change from donkeys to cattle which can be found within the district and around the area.
Njolwe	Teachers house Yenga press Bore-hole	Seems no idea from the community. (extension officer's idea) 1. Re-explain about the project 2. Emphasize the community participation 3. <u>Additional fund required to continue the project</u>
Shisholeka		
Shibali		
Koto	Community hall ADP	The villagers will resume the work when they will have secured their food.

Question 9

Does every villager know the financial situation of the each activity?

Village	answer	reason
Malisau	Yes	
Malakata	Yes	
Chipyela	No	Due to some villagers not attending the meetings
Mwalubemba	Yes	
Njolwe	Yes	
Shisholeka	Yes	
Shibali	Yes	
Koto	Yes	

Question 10 and 11

10: How often do the villagers have meetings? How about the attendance of the villagers?

Give certain number or percentages of participants.

11: Do they have annual general meeting with entire villagers?

Village	Type of meeting	Frequency	Attendance	Remarks
			Yes / No	
Malisau	Fort-nightly meeting General meeting	Twice a month Once a year	80%→40% Not held	Beginning high attendance
Malakata	Ordinary meeting General meeting	Twice a month Once a year	60% average Yes	In rainy season low participation. Dry season increase
Chipyela	Meeting of work Meeting of explaining General meeting	Twice a week Once a month Once a year	70% 70% Yes	
Mwalubemba	Ordinary meeting General meeting	Once a month Once a year	98% Not held	
Njolwe	Ordinary meeting General meeting	Quarterly Once a year	65% Yes	* Doubtful
Shisholeka	Meeting of work Meeting of activity General meeting	Once a month Quarterly Once a year	 Yes	Good attendance
Shibali	Ordinary meeting General meeting	Once a month Once a year	50% to 60% Yes	Poor attendance or <u>participate</u>
Koto	Quarterly meeting General meeting	Quarterly Once a year	40%	

Question 12

Future activity plan of CEO for the village.

Village	Plans
Malisau	The CEO is on study leave. Plan to meet the villagers to work with the new posted CEO.
Malakata	To construct a dam to have enough water for irrigated crops and livestock. To construct a facility for poultry production.
Chipyela	Monitor the construction of the protected wells and culvert bridges. Help in purchasing the materials. Help making withdraws of the money. Guide the farmers' business plans of a consumer shop and advise them. Updating the farmers' knowledge on farming techniques which can bring development to the village.

Mwalubemba	To make sure that the village become self-sufficient in food production. Have enough clean drinking water. To promote conservation farming systems in the village so that it become a model in the area.
Njolwe	To explain more about the project To supervise the remaining works To set up an income generating activity
Shisholeka	To build a dam for irrigation. A plantations of trees for soil improvement
Shibali	To assist the community to identify certain measures which will assist in the expansion of the project in the village?
Koto	To follow up the project activities like income generating activities; a. sewing b. carpentry c. bee-keeping

Question 13 : Agricultural component

Explain the situation of the component.

Village	Situation
Malisau	Fertilizers were bought for loan to the villagers. Its repayment was in Maze, and the maze was sold to be used as revolving fund.
Malakata	8 cattle were bought in April 2002. Those cattle are still under training for farm power.
Chipyela	ADP
Mwalubemba	40x 5 kg of Maze seeds 75x50kg of fertilizer (30bags of D, 45bags of Urea)
Njolwe	Component was planned but could not be started due to limited funds.
Shisholeka	Yenga press was purchased but not utilized because the community planted groundnuts in the communal field instead of sunflower.
Shibali	4 donkeys were purchased and they are assisting in ploughing for the community.
koto	Seeds and fertilizers loan basis. Pay-back is not yet completed due to drought last season.

PROJECT FOR PARTICIPATORY VILLAGE
DEVELOPMENT IN ISOLATED AREAS
(PAViDiA) (案) 05/03/2003

MINISTRY OF AGRICULTURE AND CO-OPERATIVES /
JAPAN INTERNATIONAL CO-OPERATION AGENCY

QUESTIONNAIRE ON GOOD EXAMPLES OF SUSTAINABLE
AGRICULTURAL PRACTICES

BLOCK.....

CAMP.....

NAME OF RESPONDENT.....

(CEO/BEO)

1. SOIL FERTILITY IMPROVEMENT AND MANAGEMENT

1-1 UTILIZATION OF GREEN MANURE CROPS / PLANTS

Indicate the uses to which the following crops / plants are applied. (Alternative answers – Rotation, Intercropping, Improved fallow, food and seed – any other).

Please only answer where the crop / plant is available.

CROP / PLANT	PURPOSE / USE	No. OF FARMERS	*PERFORMANCE / RESULTS
Velvet beans			
Sun hemp			
Sesbania sesban			
Tephrosia vogeli			
Pigeon peas			
Lab-lab			
Gliricidia sepium			
(Any other-specify)			

* The performance / results relates to the crop planted after the green manure crop. If possible please indicate approximately yield increase by percentage as compared with control (no green manure crop).

Please list up farmers who have good results in above green manure crops / plants

NAME OF FARMER	VILLAGE	Planted Area of named farmers (lima)	*COMMENT

* The comment should indicate main purpose/use of the particular soil improvement crop / plant that is being used by farmers and for how long in use.

1-2 UTILIZATION OF ORGANIC MATTER

Which of these materials are being used in your area?

Indicate the extent to which the materials are used for soil fertility improvement

MATTER	No. of Farmers	PREPARATION PERIOD OF TREATMENT / DECOMPOSITION	METHOD OF APPLICATION	RATE OF APPLICATION	TARGET CROPS	*PEFORMANCE / RESULTS
Compost						
Cattle manure						
Chicken manure						
Goat manure						
Pig manure						
Manure tea						
Leaf tea						
(any other-specify)						

** Relates to the crop yield to which the organic material is being applied. Also relates how long the material has been applied consecutively in the same field.*

Indicate the best example for each organic material mentioned above.

NAME OF FARMER	VILLAGE	*Material used	Planted Area (lima)	**COMMENT

* What materials do farmers use for making? (Answer in Nyanja are acceptable, if English name are not known)

**The comment should indicate main purpose/ use of the particular organic matter, target crop and how long in use.

1-3 UTILIZATION OF NON- ORGANIC MATERIALS

Indicate the extent to which the following materials are used for soil fertility improvement

MATERIAL	No. of Farmers	METHOD OF APPLICATION	RATE OF APPLICATION	TARGET CROPS	*PEFORMANCE / RESULTS
Anthill soil					
Lime					
Ash					
Innoculum					
Fertilizer basal top-dressing					
(any other- specify)					

** If possible indicate yield increase as compared with conventional cultivation methods, non use of fertilizer inclusive.*

Indicate only one best example for each non-organic material

NAME OF FARMER	VILLAGE	Planted Area (Lima)	*COMMENT

** The comment should indicate main purpose / use.*

1-4 Treatments of major crop residue

(1) Treatments for the stalk	Number of farmers			
	Maize	Cotton	Ground nut	Sorghum
Stood in the fields where they were and burned				
Gathered to make heaps and burned				
Left in the fields and make them remain there until the termites or animals use them, or until they become rotted				
Cut and collected to make compost in corners of field or backyards				
Cut and put aside the rows then buried as they were for the next planting season				
Chopped and scattered in the fields then buried for the next planting season				
Used as mulching between rows for the next planting season				
<i>Any other specify:</i>				

Please list up farmers who have good and recommendable practices for stalks in maintaining the soil fertility

Treatments	Farmers name	Village	Crop	Their constraints in practicing examples* (Labors payable to the yields are to be excluded in the constraints)

(2)Treatments for the cob residue	Numbers of farmers
-a. Burned just as trash and do not use the ash	
-b. Burned but the ash applied to the field	
-a. Returned to the field and buried later	
-b. Returned to the field after been chopped and buried later	
-a. Collected to farmyards to make compost	
-b. Collected to barnyards for feeding animals	
Treated for any others, then specify them in the box below	

1-5 PRIMARY LAND PREPARATIONS

Indicate the methods used to prepare land for planting by hand or animal draft power

CROP	METHOD OF LAND PREPARATION	EQUIPMENT (TOOLS) INVOLVED	PERFORMANCE OF EQUIPMENT	No. of farmers

Indicate only one best example of land preparation method mentioned

NAME OF FARMER	VILLAGE	METHOD OF PREPARATION

1-6 PHYSICAL SOIL EROSION CONTROL

What physical measures do farmers take in place to control soil erosion?

--e.g. Vetiver grass, contour ploughing, etc.

NAME OF FARMER	VILLAGE	CONTROL MEASURES

2. PLANT / LIVESTOCK PROTECTION BY NATURAL / BIOLOGICAL REMEDIES

Indicate whether the following biological materials are used to in crop / livestock protection. (Alternative answers may include insecticide, fungicide, acaricide, herbicide, repellent, nematocides and any other specify)

Consider those only applicable in your area and add if any.

PLANT / CROP MATERIALS	PURPOSE	Method of application and rate	Target crop / livestock	No. of farmer	*COMMENT
Tephrosia					
Chili					
Marigold flowers					
Onions					
Sun hemp					
Tobacco					
Ashes					
Neem					
Any other specify					

* The comment should indicate availability and handling easiness.

Indicate the best example for each organic material mentioned above.

NAME OF FARMER	VILLAGE	SPECIFIC USES / PURPOSE	Performance / Results
			excellent, good, satisfactory, poor, non
			excellent, good, satisfactory, poor, non
			excellent, good, satisfactory, poor, non
			excellent, good, satisfactory, poor, non
			excellent, good, satisfactory, poor, non
			excellent, good, satisfactory, poor, non
			excellent, good, satisfactory, poor, non
			excellent, good, satisfactory, poor, non
Any other specify			excellent, good, satisfactory, poor, non

3. CROP DIVERSIFICATION

3-1 Food Security Crops

Crop	Variety	No. of Farmers	Av. area per farmer (lima)	Cultivation period (month)	Product uses	Production constraints
Cassava						
Sweet Potato						
Cow pea						
Sorghum						
Any other specify						

3-2 Horticultural Crops

(1) Vegetables (indicate name)	Variety	No. of Farmers	Av. area per farmer (lima)	Cultivation period (month)	Product uses	Production constraints

(2) Fruit tree (indicate name)	Variety	No. of Farmers	Av. area per farmer (lima)	Cultivation period (month)	Product uses	Production constraints

3-3 Industrial / Cash Crops

Crop	Variety	No. of Farmers	Av. area per farmer (lima)	Cultivation period (month)	Product uses	Production constraints
Cotton						
Sunflower						
Groundnuts						
Flowers						
Jatropher						
Baby corn						
Sesame						
Any other specify						

4. Small Scale Irrigation

Source of irrigation: Natural reservoirs (dambos, ponds), Streams, Rivers, Springs, Dams (earth, rock), Ponds, Boreholes, Wells, Weirs

Type of equipment: Treadle pump, Rope and washer pump, Motorized(fuel) pump, Buckets

System of irrigation methods: Farrow, Drip, Basin, Overhead, Flooding

Name of farmer and village	Source of irrigation	Type of equipment	Irrigation method

** Requirements of description*

1)Date of introduction, 2)yield & income, 3)how do you find the water source?

4)Management of the water source, 5)Problems and possible solutions (if any)

Crop production under irrigation				*Comments & results
Crop	Period (month)	Irrigation interval	Areas (lima)	

5. Small livestock development (Poultry, Piggery, Goat, Cattle)

Indicate only very good examples.

5-1 Poultry

Name of farmer and village	Purpose of keeping	Type of poultry (hybrid /local)	No. of chicken	Type of chicken house (brick /wire / poles)	Type of feed (home made / commercial)	*Comments & results

5-2 Piggery

Name of farmer and village	Purpose of keeping	Type of pig (Improved / local)	No. of pigs	Type of pig house (brick / wire / poles)	Type of pig feed (kitchen waste / homemade)	*Comments & results

** The comment should indicate any improvements / treatments / problems / income realize*

5-3 Goat

Name of farmer and village	Purpose of keeping	No. of goat	Type of goat house (improved/traditional)	Type of goat feed	*Comments & results

5-4 Cattle

Name of farmer and village	Type/category of animals	Purpose of keeping	No. of Cattle	Type of supplementary feed	*Comments & results

* The comment should indicate any improvements / treatments / problems / income realize, rearing system.

7．追加付属資料（活動計画・実施体制図・カウンターパートリスト）

追加付属資料（調査団派遣後に完成した資料）

調査団の提言を受け、調査団帰国後に下記の資料が作成され、プロジェクトマネジメント会合で承認された。

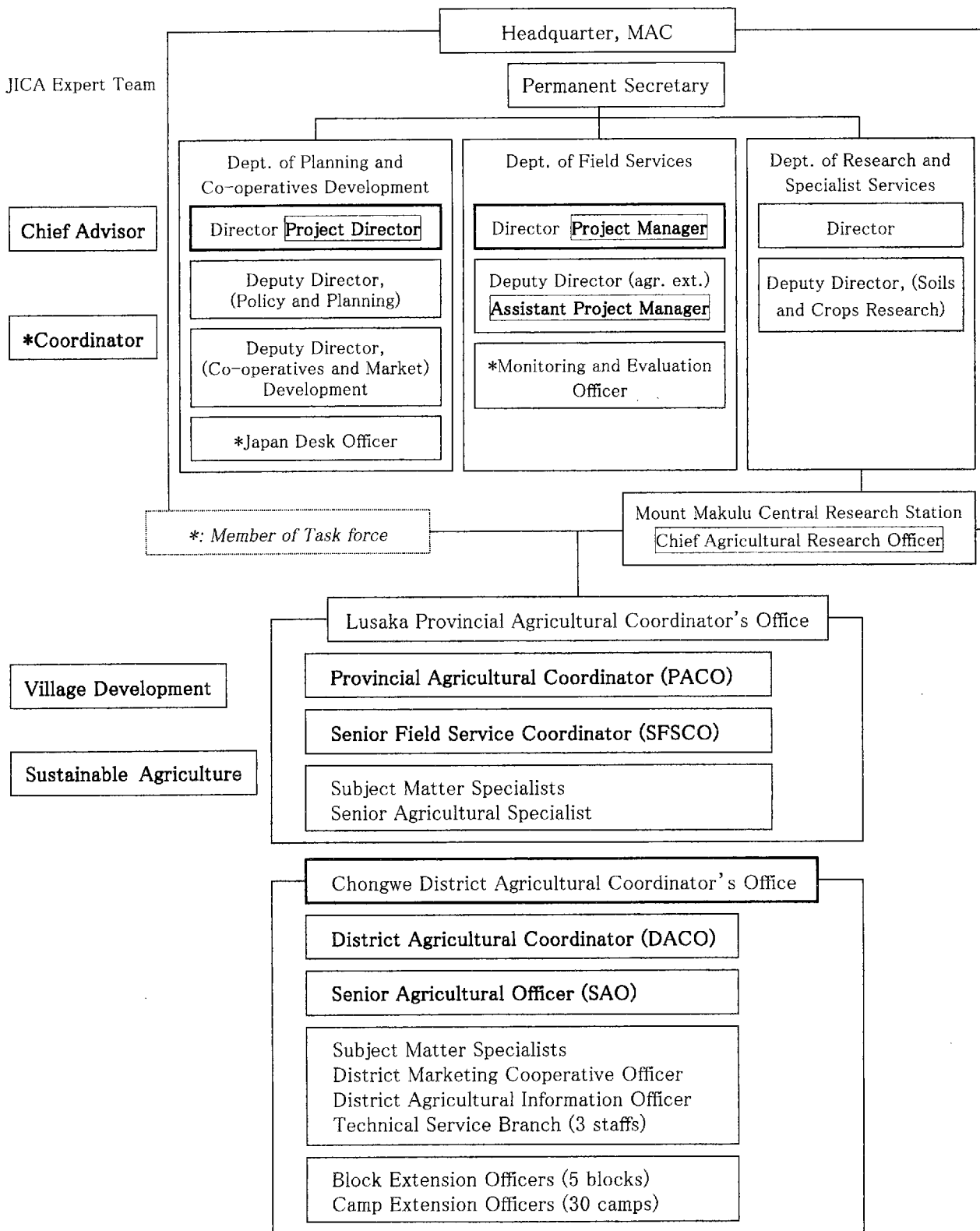
- 1．活動計画（Plan of Operation：PO）…………… 平成15年4月3日完成
- 2．実施体制図…………… 平成15年4月3日完成
- 3．カウンターパートリスト…………… 平成15年4月3日完成

Summary	Years (Calendar year)																							
	2002			2003			2004			2005			2006			2007			2008			2009		
Project term	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
2-1-3 Analysis on the results of monitoring				--	--	--	--	--	--	--	--	--												
2-1-4 Giving feed back to the training programme				--			--			--														
2-2 Establishment of training programme for extension officers				--	--	--	--	--	--	--	--	--												
2-2-1 Setting up of PaViDIA training curriculum for SMS and CEOs				--	--	--	--	--	--															
2-2-1-1 Designing of curriculum on PASViD				--	--	--	--	--	--															
2-2-1-2 Designing of curriculum on sustainable agriculture				--	--	--	--	--	--															
2-2-2 Implementation of training course					--			--																
2-2-3 Evaluation of the training course					--			--																
2-2-4 Follow up of workshop implementation in the villages SFSCO					--			--																
2-2-5 Modification and establishment of the training programme										--	--	--	--	--	--	--	--	--						
2-3 Facilitation of phase 1 micro-projects by extension officers for village development in Isolated areas					--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--						
2-3-1 Selection of villages					--			--																
2-3-1-1 Designing of village basic data sheet					--			--																
2-3-1-2 Designing of criteria to select villages					--			--																
2-3-2 preparation of village action plan					--	--		--	--															
2-3-2-1 Facilitation for forming village action plan by extension officers					--	--		--	--															
2-3-2-2 Backstopping of the facilitation SFSCO and District SMS					--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--						
2-3-3 Implementation of micro-projects							--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--						
2-3-4 Monitoring on micro-projects of PaViDIA							--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--			
2-3-4-1 Monitoring on implementation of PaViDIA micro-project							--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--			
2-3-4-2 Monitoring on impact of micro-project							--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--			
2-4 Modification and/or produce of manuals for training programme					--	--	--	--	--	--	--	--												
2-4-1 Review of PASViD manual by Establishment of PaViDIA method					--			--																
2-4-2 Compilation of pilot and PaViDIA micro-project sample					--			--																
2-4-3 Modification of PASViD manual					--			--																
2-4-4 Finalization of PASViD training manual											--													
2-5 Documentation of the PaViDIA implementation process					--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--						
2-5-1 Documentation on PaViDIA implementation structure														--	--									
2-5-2 Documentation on Training implementation					--			--																
2-5-3 Documentation on Facilitation of micro-project					--	--		--	--															
2-5-4 Documentation on Monitoring system																	--	--						
2-5-5 Documentation of Sustainable Agriculture practices					--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--						

Summary	Years (Calendar year)																							
	2002			2003			2004			2005			2006			2007			2008			2009		
Project term	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
3-1 Institutionalization of the Project activities within the Ministry of Agriculture and Co-operatives																								
3-1-1 Planning of institutionalization within MACO				--	--	--	--	--	--															
3-1-2 Setting of institutionalization within MACO										--	--	--												
3-2 Preparation for expansion of PaViDIA																								
3-2-1 Training trainers of staff from national headquarter																								
3-2-1-1 Short-term training in Bangladesh and Japan				--	--	--	--	--	--	--	--	--												
3-2-1-2 Seminar and workshop										--	--	--	--	--	--									
3-2-2 Examination of replicability of PaViDIA model																								
3-2-2-1 Compiling and analyzing data from phase 1 micro-projects in view of replicability										--	--	--	--	--	--	--	--	--						
3-2-2-2 Collecting information of other provinces in view of replicability										--	--	--	--	--	--									
3-2-3 Selection of prioritized areas of expansion																								
3-2-3-1 Setting criteria for selection				--	--	--	--	--	--															
3-2-3-2 Collecting information from prioritized areas										--	--	--	--	--	--									
3-2-3-3 Putting the areas in order of priority													--	--	--									
3-2-4 Sensitization of PaViDIA																								
3-2-4-1 Field days										--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--			
3-2-4-2 Workshops and/or seminars										--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--			
3-2-5 Planning of expansion projects using PaViDIA model																								
3-2-5-1 Drafting expansion projects													--	--	--	--	--	--	--	--	--			
3-2-5-2 Training trainers of staff from prioritized area													--	--	--	--	--	--	--	--	--			
3-2-5-3 Implementing pilot expansion projects																			--	--	--	--	--	--

Organizational Chart of the Project

as of 3rd Apr. 2003



		Zambian Personnel
JICA Experts	Counterpart	Other personnel involved
Chief Advisor	Director (Project Director), Department of Planning and Co-operatives Development	[Department of Planning and Cooperatives Development] · Deputy Director (Policy and Planning) · Deputy Director (Co-operatives and Market Development) · 2 Japan Desk Officers
Coordinator	Director (Project Manager), Department of Field Services Senior Field Services Co- ordinator (SFSCO), Lusaka PACO's Office	[Department of Research and Specialist Services] · Director · Deputy Director, Soils and Crops Research
Village Development	Senior Agriculture Officer (SAO)	[Department of Field Services] · Deputy Director (Extension) · Monitoring and Evaluation Officer
Sustainable Agriculture	Chief Agricultural Research Officer (Water and Soils), Mount Makulu Central Research Station Subject Matter Specialist (Crop Husbandry), Chongwe DACO's Office	[Lusaka Provincial Agricultural Coordinator's Office] · Provincial Agricultural Coordinator (PACO) · Subject Matter Specialist (Senior Economic Marketing Development Coordinator) · Subject Matter Specialist (Principal Livestock Officer / Focal Point Person for HIV/AIDS) · Subject Matter Specialist (Principal Farm Management Officer) · Subject Matter Specialist (Fisheries Extension) · Senior Agricultural Specialist [Chongwe District Agricultural Coordinator's Office] · District Agricultural Coordinator (DACO) · District Marketing Cooperative Officer · Subject Matter Specialist (Women and Youths) · Subject Matter Specialist (Farm Management) · Subject Matter Specialist (Extension Methodology) · Subject Matter Specialist (Fisheries Extension) · Subject Matter Specialist (Animal Husbandry) · District Agricultural Information Officer · TSB (Farm Power) · TSB (Irrigation) · TSB (Land Use) · 5 Block Extension Officers (Chongwe, Nkomesha, Palabana, Bundabunda, Rufunsa) · 30 Camp Extension Officers (Kanakantapa, Kapete, Chainda, Chinkuli, Kasenga, Ellensdale, Shelleni, Kampekete, Lwimba, Mwalumina, Lukoshi, Mulalaika, Chimbwete, Nchute, Palabana, Njolwe, Honda, Nkumba, Nyangwena, Chiyota, Chinyunyu, Ndubulula, Namanongo, Mwachilele, Shinjela, Rufunsa, Lukwepa, Chimusanya, Mpanshya, Shikabeta)